4 オーディオ／ビジュアル

★：グレード、オプションなどにより、装着の有無が異なります。◎：ディーラーオプションです。

オーディオについて

安全にご使用していただくために

運転中は、車外の音が聞こえる適度な音量でお聞きください。また、安全のため走行中はテレビ／ DVDなどは映りません。

⚠ 警告

- 音量が大きすぎると車外の状況が判らないため、思わぬ事故につながるおそれがあります。また、走行中の操作は前方不注意となるおそれがあります。車を停止させてから操作してください。

オーディオプレーヤーを上手に使うために

- 寒冷時や雨天時は、プレーヤー内に露（水滴）が生じ、正常に作動しないことがあります。その場合はオーディオソフト（CD、DVD、USBメモリ）を取り出し、しばらくの間、除湿や換気をしてから使ってください。
- 炎天下に長時間駐車したときなどプレーヤーの温度が高いときは、正常に作動しないことがあります。温度を下げてから使ってください。
- 走行中に振動が激しいと、音とびすることがあります。
- CDやDVDは専用ケースに入れ、直射日光のあたる場所や高温多湿の場所を避けて保管してください。

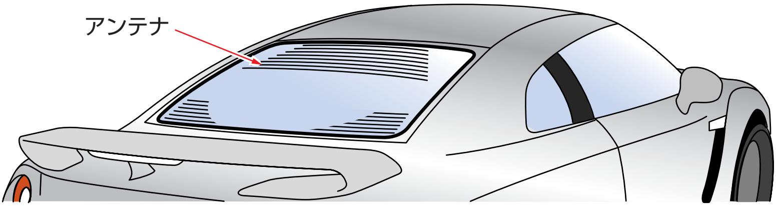
⚠ 注意

- 故障の原因となりますので、CD/DVDおよびUSBメモリ挿入口に異物を入れないでください。

アンテナについて

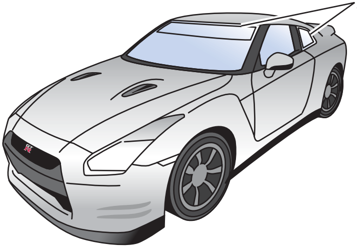
ガラスアンテナ

アンテナ線はリヤウインドーガラスの内側にあります。



地上デジタルテレビ用アンテナ

地上デジタル用アンテナは、フロントガラスおよび左右のリヤクォーターガラスにあります。



アドバイス

- アンテナ線部にミラータイプのフィルムや金属物（市販のアンテナなど）を貼り付けないでください。受信感度が低下し、ノイズ（雑音）などが入るおそれがあります。
- ガラスの内側を清掃するときは、アンテナ線を切らないように、水を含ませた柔らかい布でアンテナ線にそって軽くふいてください。

リヤウインドーの清掃・・・車両の取扱説明書をお読みください。

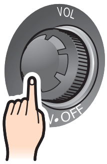
- アンテナ線は、手荷物などで傷つけないようにしてください。
- 地上デジタルテレビの特性上、電波の状態により映像や音声が途切れることがあります。

オーディオを操作する

ここではオーディオの共通操作について説明しています。

オーディオをON/OFFする

❶ PUSH ON・OFF を押す



スイッチを押すごとにON、OFFが切り替わります。オーディオをONにすると画面にオーディオ情報が表示されます。

● 状態表示画面

オーディオ情報



● 地図画面



オーディオ情報

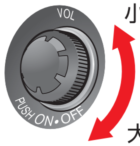
知識

- 地図画面上へのオーディオ情報の表示／非表示を設定することができます。

オーディオの作動状態を表示する・・・p.2-153

音量を調整する

1 VOL を回す



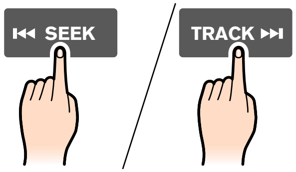
画面上に音量調整用バーグラフが表示されます。

知識

- ステアリングスイッチの VOL でも音量の調整をすることができます。
- 音声ガイドが流れているときは、VOL を回してもオーディオの音量は調整されず、音声ガイドの音量が調整されます。
- 音声ガイドを聞きとりやすくするために、音声ガイド中はオーディオの音量が一時的に小さくなります。

早送り／早戻しをする

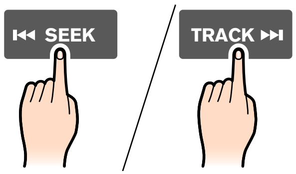
1 ⏮ SEEK ／ TRACK ⏭ を押し続ける



TRACK ⏭ ：　早送りをします。
⏮ SEEK ：　早戻しをします。

選曲をする

1 ⏮ SEEK ／ TRACK ⏭ を押す



TRACK ⏭ ：　押すごとに次の曲に変わります。
⏮ SEEK ：　押すごとに前の曲に戻ります。
演奏中に1回押すと、曲の最初に戻ります。
演奏中に2回押すと、前の曲に戻ります。

モード（ソース）を切り替える

知識

- ステアリングスイッチの SOURCE を押しても切り替えることができます。

TV・外部機器のモード（ソース）を切り替える

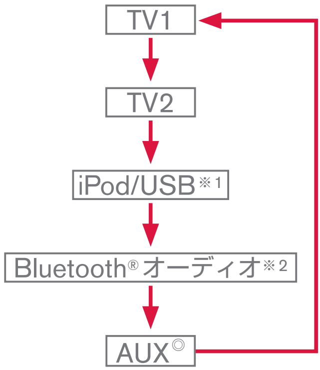
1 TV・AUX を押す





テレビまたは外部機器操作画面が表示されます。

TV・AUX を押すごとにモード（ソース）が切り替わります。

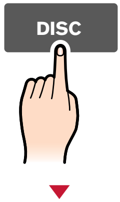


※1 iPod/USBメモリが接続されている場合のみ切り替わります。

※2 Bluetooth®機器が登録され、接続設定がONのときに切り替わります。

オーディオのモードを切り替える

1 **DISC** を押す



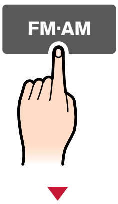


オーディオ操作画面が表示されます。
DISC を押すごとに、モード（ソース）が切り替わります。

CD/DVD
↕
ミュージックボックス

ラジオのソースを切り替える

1 **FM・AM** を押す



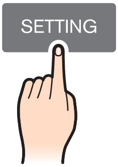


ラジオ操作画面が表示されます。
FM・AM を押すごとにモード（ソース）が切り替わります。

FM1 → FM2 → AM → FM1

オーディオの設定をする

❶



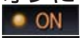
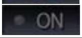
❷ オーディオ



❸ 項目を選ぶ



以下のオーディオ設定をすることができます。

BASS	低音を調整します。
TREBLE	高音を調整します。
BALANCE	左右の音量バランスを調整します。
FADER	前後の音量バランスを調整します。
車速連動ボリューム	車速に連動して音量を自動調整する感度を設定します。 効果幅をオフ（0）～5（効果大）の範囲で設定できます。
DivX機器登録認証番号	DivXの有料ファイルなどのダウンロードサービスを利用する際に必要な機器の登録コードを確認します。
ジャケット写真表示	画像ファイルの表示のON/OFFを設定します。 （再生中のメディアに画像ファイルがないときには設定をオンにしても表示されません。）  （点灯）：ジャケット写真表示をONにします。  （消灯）：ジャケット写真表示をOFFにします。

知識

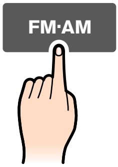
- **車速連動ボリュームとは**
  車の速度とともに大きくなる騒音で音楽がかき消されないように音量を自動調整する機能です。
  初期設定はオフになっています。
- DivX機器登録認証番号は、USBメモリやディスクが接続されていると表示できません。

ラジオ

ラジオを聞く

ラジオをONにして、操作画面を表示します。

1 **FM・AM を押す**



ラジオ操作画面が表示されます。
FM・AM を押すごとにモード（ソース）が切り替わります。

ラジオのモード（ソース）は、プリセットリストの種類に応じて以下のように切り替わります。

プリセットリスト	モード（ソース）	登録局数
手動登録（マニュアルプリセット）	AM	6局
	FM1	
	FM2	
自動登録（オートプリセット）	AM AUTO.P	6局
	FM AUTO.P	

知識

- ラジオの受信は、車両移動に伴う電波の変動、障害物や電車、信号機などの影響により、最適な受信状態を維持できないことがあります。
- ラジオを聞いているとき、車内、または車の近くで携帯電話や無線機を使うと、ノイズ（雑音）が入ることがあります。

ラジオ操作画面



① **現在のオーディオモード**
FM1、FM2、AM、FM AUTO.P、AM AUTO.P、のいずれかが表示されます。

② **現在の放送局名**
現在受信中の放送局名が表示されます。

③ **現在の周波数**
現在受信中の周波数が表示されます。

④ （オートプリセット）
現在地付近で電波の強い放送局を6局まで自動登録します。プリセットリスト切替の設定でAM（AUTO.Pモード）またはFM（AUTO.Pモード）を選ぶと表示されます。

自動で登録する（オートプリセット）･･･p.4-12

⑤ （メニュー）
設定画面が表示されます。

⑥ **プリセットリスト**
放送局名または周波数が表示されます。

登録済みの放送局から選ぶ･･･p.4-11

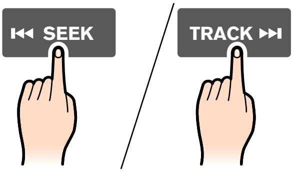
⑦ **重複表示**
同じ地域に同一周波数の放送局があるときに表示されます。

⑧ **リスト送りキー**
プリセットリストを1つずつ送ります。

放送局を選ぶ

自動で選局をする

❶ ⏮ SEEK ／ TRACK ⏭ を押し続ける

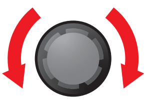


自動的に感度の良いチャンネルを受信して表示します。ただし、電波状況によっては、自動選択が難しい場合は、手動で選んでください。

> **知識**
> - ステアリングスイッチの SEEK を上下に長く押し続けても放送局を選ぶことができます。

手動で選局をする

❶ TUNE / FOLDER を回す



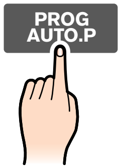
1ステップずつに周波数が変わりますので、聞きたい放送局を選んでください。

> **知識**
> - ステアリングスイッチの SEEK を上下に長く押し続けても放送局を選ぶことができます。

登録済みの放送局から選ぶ（プリセット選局）

あらかじめ登録された放送局をリストから選局します。

❶ PROG AUTO.P を押す



PROG AUTO.P を押すごとにプリセットリストが切り替わります。

・FM

FM1 / FM2 ←→ FM AUTO.P

・AM

AM ←→ AM AUTO.P

❷ 放送局を選ぶ



選択した放送局に設定されます。

> **知識**
> - （メニュー）→（プリセットリスト切替）から切り替えることもできます。
> - プリセットスイッチ 1 ～ 6 を押しても、プリセットリストに表示された番号の放送局名に切り替えることができます。
> - 「重複」と表示されている放送局はその放送局を選択すると、放送局名を切り替えることができます。

放送局を登録する

手動で登録する（マニュアルプリセット）

プリセットリストに放送局を手動で登録します。FM1、FM2、AMそれぞれに6局まで登録できます。

1 放送局を受信する



2 1～6を長押しする



「ピッ」という音がして、登録されます。

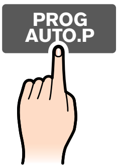
知識

- プリセットリストをタッチし続けても同様に登録することができます。
- FMを登録する場合は、FM・AMを押して登録したいプリセットリスト（FM1またはFM2）を選んでから登録します。

自動で登録する（オートプリセット）

現在地付近で電波の強い放送局を周波数の強い順に6局まで自動で登録します。

1 PROG AUTO.P を長押しする



2 自動選局を開始する



「ピッ」という音がしてメッセージが表示されます。登録が終了するとオートプリセットモード（ソース）画面に切り替わります。

知識

- 受信状態が悪くプリセットリストのすべてに登録できない場合は、空いたプリセットリストにオートプリセットする前の放送局が残ります。
- あらかじめモード（ソース）をプリセット（AUTO.P）に切り替えてから、オートプリセットを押し続けても同様に登録することができます。

放送局名の地域を選ぶ

表示する放送局名の地域を手動で選ぶことができます。

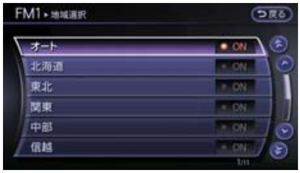
❶ （メニュー）



❷ （地域選択）



❸ 地域を選ぶ



（オート）	● ON が点灯すると、自動で地域を選びます。
地域名	● ON が点灯すると、選んだ地域の放送局名を表示します。

交通情報を聞く放送局を設定する

現在聞いている放送局を交通情報として設定します。

❶ （メニュー）



❷ （現在の周波数を交通情報に設定）

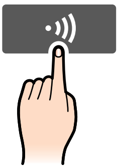


現在の周波数が交通情報に設定され、交通情報を聞くことができます。

交通情報を聞く

交通情報として登録された放送局を受信します。（初期値はAM放送の1620kHzが登録されています。）

❶



❷ 交通情報を受信する



知識

- ラジオが作動していないときでも（•)))）を押すと受信します。
- （•)))）を長押ししても同様に登録することができます。

FM多重放送（一般放送）

FM放送局の文字放送を受信して、交通情報やニュースなどの情報を見ることができます。

1 メニュー



2 FM多重放送



3 番組情報を選ぶ



情報画面が表示されます。

● FM多重放送画面



番組番号	選択すると番組の情報を表示します。（番組選択できる場合、番組一覧が表示されます。番組一覧は複数ページにわたる場合もあります。）
▲	情報が２ページ以上あるとき、前のページを表示します。
▼	情報が２ページ以上あるとき、次のページを表示します。

知識

- メニュー画面をタッチしても情報画面は表示されません。
- FM多重情報の受信状態によって以下のようなメッセージが表示されます。
  - しばらくお待ちください　：現在受信中の放送局がFM多重放送を送信しているかを確認しています。
  - FM多重情報が受信できません　：現在受信中の放送局がFM多重放送を送信していないか、受信状態が悪い状態です。
  - FM多重情報を受信中です　：FM多重情報を取得できています。
- FMのステレオ音声が良好に受信できれば、FM多重一般放送も受信できる可能性があります。
- いったんFM多重一般放送を受信すると、VICSのFM多重放送を表示するまで時間がかかることがあります。

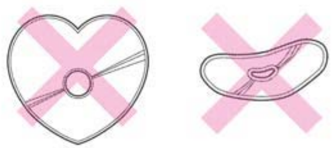
CD（MP3/WMA/AAC）

CD（コンパクトディスク）について

- 音楽用CDは、以下のマークが入っているものを使用してください。

  COMPACT disc DIGITAL AUDIO

- コピーコントロールCDは規格に準拠していない特殊ディスクのため、再生できないことがあります。
- CD-R（Compact Disc Recordable）、CD-RW（Compact Disc Rewritable）は、再生できないことがあります。
- 次のようなCDは、故障の原因となりますので使用しないでください。
  - ハート型や八角形などの特殊な形状のCD
  - そったり、傷があるCD
  - 読み取り面が汚れているCD
  - 内外周が荒く処理されたCD
  - 個人でシールやラベルを貼ったCD
  - レーベル面に印刷できるCD

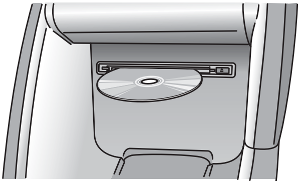


- レンズクリーナーはピックアップ故障の原因となる恐れがありますので使用しないでください。

CDを再生する

ディスクを入れて再生する

1 ディスクを挿入する



ディスクを読み込み自動的に再生が始まります。

アドバイス

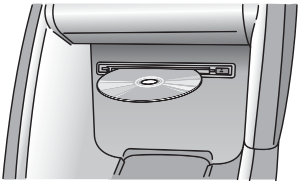
- 故障の原因となりますので、挿入口にCDまたはDVD以外の物を入れないでください。
- ディスクを挿入するときは、すでに別のディスクが入っていないことを確認してから挿入してください。

知識

- CDはレーベル面を上にして挿入口に入れてください。
- マルチセッションで書き込んだCDやMP3/WMA/AACディスクは再生開始までに時間がかかる場合があります。（セカンドセッションの音楽ファイルは再生できません。）
- すでにディスクが入っている場合は、CD操作画面が表示されるまで DISC を押してください。

■ ディスクを取り出す

1 ▲ を押す



ディスクが排出されます。
排出されたディスクをそのままにしておくと、オートリロード機能が働き、ディスクが再び引き込まれます。

知識

- **オートリロード機能とは**
  安全のため、排出されたディスクをそのままにしておいた場合に、再びディスクを引き込む機能です。

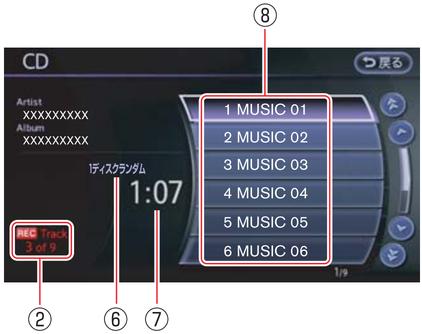
操作画面の見かた

CD操作画面

● 曲情報画面



●トラック選択画面



① **曲情報**
アーティスト名／アルバム名／トラック名が表示されます。
テキスト情報が記録されている曲またはGracenoteデータベースで検索された曲を再生しているときに表示されます。

② **録音曲数**
CDの録音中に表示します。

③ （全曲録音）／（録音停止）
CDの全曲録音の開始、または録音中に録音停止をします。

④ （メニュー）
プレイモードの選択やCD録音の設定などをします。

⑤ （リスト表示）
トラック選択画面を表示します。

⑥ **プレイモード**
プレイモードを表示します。（全リピートのときは表示されません。）

⑦ **再生時間**
曲が始まってから現在までの時間を表示します。

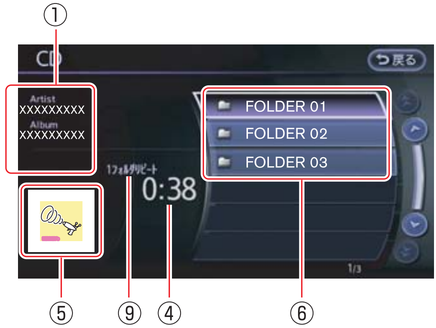
⑧ **トラックリスト**
トラックリストを表示します。

MP3/WMA/AAC操作画面

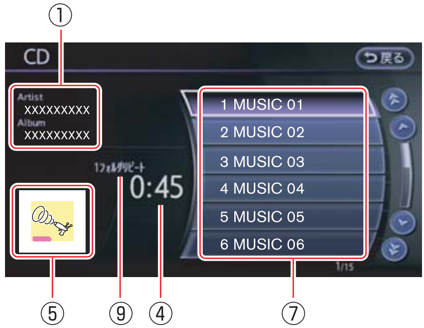
● 曲情報画面



● フォルダ選択画面



●ファイル選択画面



① **曲情報**
アーティスト名／アルバム名／トラック名が表示されます。（テキスト情報が記録されている曲を再生しているときに表示されます。）

② （メニュー）
プレイモードの選択をします。

③ （リスト表示）
フォルダ選択画面またはファイル選択画面を表示します。

④ **再生時間**
曲が始まってから現在までの時間を表示します。

⑤ **イメージファイル**
画像ファイルがあるとき、表示されます。

⑥ **フォルダリスト**
<u>**フォルダ選択画面**</u>
フォルダのリストを表示します。（リスト表示）を選択すると表示されます。

⑦ **トラックリスト**
<u>**ファイル選択画面**</u>
ファイルのリストを表示します。フォルダリストを選択して表示されます。またはフォルダが1つの場合、（リスト表示）を選択すると表示されます。

⑧ **ファイルフォーマット**
再生中のファイルフォーマットが表示されます。

⑨ **プレイモード**
プレイモードを表示します。（全リピートのときは表示されません。）

CD操作画面のリストから選曲する

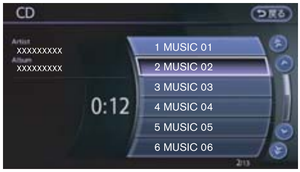
❶



❷ リスト表示



❸ 聞きたい曲を選ぶ



選択した曲が再生されます。

MP3/WMA/AAC操作画面のフォルダから選曲する

MP3/WMA/AACで記録されているディスクの場合、リストにフォルダが表示されます。（フォルダが１つしかないディスクの場合、フォルダ選択画面は表示されません。）

❶



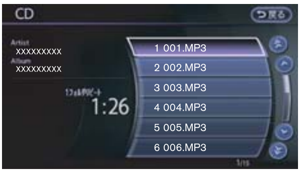
❷ リスト表示



❸ フォルダを選ぶ



❹ 聞きたい曲を選ぶ



選択した曲が再生されます。

知識

- コントロールパネルの BACK または、操作画面上の 戻る を選択すると1つ前の画面に戻ります。

CD再生の設定をする

操作画面の（メニュー）を選択すると、プレイモードや録音などの設定ができます。

プレイモードを切り替える

いろいろなプレイモードでCDを聞くことができます。再生しているディスクによって、表示される項目が変わります。

1 （メニュー）



2 （プレイモード切替）



3 プレイモードを選ぶ



● ON が点灯し、プレイモードが設定されます。

下記のプレイモードを設定することができます。

● CDの場合

プレイモード	再生方法
（全リピート）	1枚のCD全曲を曲順に繰り返し再生します。
（1トラックリピート）	同じ曲を繰り返し再生します。
（1ディスクランダム）	1枚のCD全曲を自動的に順番を変えて再生します。

● MP3/WMA/AACの場合

プレイモード	再生方法
（全リピート）	1枚のCD全曲を曲順に繰り返し再生します。
（1フォルダリピート）	1つのフォルダ内の曲を順番に繰り返し再生します。
（1トラックリピート）	同じ曲を繰り返し再生します。
（1ディスクランダム）	1枚のCD全曲を自動的に順番を変えて再生します。
（1フォルダランダム）	1つのフォルダ内の全曲を自動的に順番を変えて再生します。

知識

- PROG AUTO.P を押してもプレイモードを切り替えることができます。

CD録音の設定をする

録音方法や録音品質の設定をすることができます。

知識

- MP3/WMA/AAC形式で音楽ファイルを保存したディスクは、HDDに録音することができません。

■ 曲を選択して録音する

❶ メニュー



❷ 曲を選択して録音する



❸ 録音したい曲を選ぶ



❹ 録音開始



録音を開始して、曲情報画面に戻ります。

知識

- すべて選択／解除 を選択すると、リストにある曲をすべて選択することができます。また、選択を解除することができます。

■ 全曲自動録音する

❶ メニュー



❷ 全曲自動録音する



● ON が点灯し、CDを挿入するとすべての曲を自動録音します。

■ 録音品質の設定をする

❶ メニュー



❷ 録音品質を設定する



❸ 録音品質を選ぶ



● ON が点灯し、録音品質が設定されます。

以下の録音品質を設定することができます。

曲数を優先する（105kbps）	音質を標準にして曲数を多く録音します。
音質を優先する（132kbps）	曲数を少なくして音質を良く録音します。

タイトル取得の優先設定をする

録音の際に付加するタイトル情報およびCD画面で表示するタイトル情報をGracenoteデータベースから取得するか、CDに記録されているテキスト情報から取得するかを設定します。

❶ メニュー



❷ タイトル取得の設定をする



❸ 優先設定を選ぶ



● ON が点灯し、優先設定が設定されます。

以下のタイトル取得の優先設定を設定することができます。

CDDB	Gracenoteデータベースで検索された曲のタイトルを優先取得します。
CD-TEXT	テキストで記録された曲のタイトルを優先取得します。

知識

- タイトル情報がGracenoteまたはテキスト情報の片方しかない場合は、設定に関わらず存在するタイトル情報を取得します。

ミュージックボックス

ミュージックボックスについて

音楽CDをHDD（ハードディスクドライブ）に録音して様々な方法で再生することができます。また、HDDに収録されているデータベースからアーティスト名、ジャンルなどを自動的に取得し、表示することができます。

プレイリストについて

音楽CDを録音すると、HDDに収録されているデータベースまたはCD-TEXTから取得した情報をもとに、アルバム別やアーティスト別、ジャンル別、フィーリング別に自動的にグループ分けして、プレイリストを作成します。グループ分けされた曲は「アーティスト」、「アルバム」、「ジャンル」などいろいろな選曲方法で再生することができます。

再生方法を選ぶ・・・p.4-29

MCDB について

ミュージックボックスは「フィーリングモード」（明るい曲、いやされる曲など）に応じた自動選曲用のデータベースとして、MCDBを使用しています。

※ MCDBは、メディアクリック社の登録商標です。

ハードディスクの容量について

録音品質	録音可能曲数	録音可能アルバム数
132kbps時	約2,400曲	約240枚
105kbps時	約3,000曲	約300枚

※ 収録可能曲数は、1曲4分、収録可能アルバム数は1枚10曲で換算した場合の数値です。

知識

- 録音品質の設定により、録音可能曲数は変わります。

録音品質を設定する ・・・p.4-41

- ハードディスクの容量を確認することができます。

ハードディスクの容量情報を確認する・・・p.4-40

録音についての注意

・本機の故障、誤作動または不具合によりHDDに保存されなかった場合のデータ、及び消失したデータの保障はできません。あらかじめご了承ください。
・お客さまが録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上権利者に無断で使用できません。
・録り直しの効かないCDを録音する場合は、録音後に正しく録音されているか確認してください。
・高速で録音を行うため、ディスクの状態によっては録音できない場合があります。
・走行中、悪路などで過大な振動を受けた場合、録音に音飛びなどが発生することがあります。
・音飛びのあった録音には、⦸（音飛びマーク）が表示されます。
・音飛びしたときやディスクの状態が悪いときは、無音状態が録音される場合があります。
・SCMS（シリアルコピーマネージメントシステム）を検出したトラックの録音は行いません。
・ディスクの傷、汚れなどにより、録音できなかったり、音飛びが発生したり、録音に時間がかかる場合があります。

タイトル自動取得について

HDDに収録されていないタイトルは、以下の方法でGracenoteデータベースから自動取得できます。

・ CD録音時にタイトルを自動取得する

CD録音時にタイトルを自動取得する・・・p.4-42

知識

● 自動取得されたタイトル情報は、実際のタイトルと異なる場合があります。
● 新作CDなどの場合、タイトル情報が取得できない場合があります。

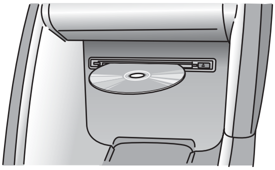
録音をする

知識

- MP3/WMA/AACのファイルは、録音することができません。
- USBメモリからの録音はできません。
- CDを再生しているときは約4倍速、再生していないときは約7倍速で録音します。
- 録音中は、「REC」と録音曲数が表示されます。
- 録音中に振動、ディスクの傷や汚れなどにより読み取りエラーが発生した場合、その曲の始めに戻り録音を再開します。
- はじめからの録音を3回繰り返しても読み取りエラーが発生した場合は、そのまま録音が継続され音飛びのあったことを示す ⊘（音飛びマーク）が表示されます。
- CD以外のモード（ソース）に切り替えても、録音は継続されますが、以下の場合は録音を停止します。
  - -オーディオをOFFにしたとき
  - - CDを取り出したとき
  - - HDDの容量がいっぱいになったとき

自動で録音する

1 CDを挿入する



2 録音を開始する



自動的にCD画面に切り替わり、録音を開始します。（オーディオモード時）

知識

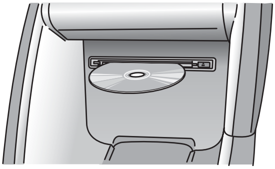
- 録音が完了すると録音終了のメッセージが表示され、自動的に録音を停止します。
- 自動で録音するには、（全曲自動録音する）の設定がONになっている必要があります。初期設定は、（全曲自動録音する）の設定がONになっています。

自動録音の設定をする･･･ p.4-40

- CDデータをHDDに録音（リッピング）しているとき、CDの回転音が大きくなりますが、故障ではありません。

曲を選択して録音する

1 **CDを挿入する**



2 （メニュー）



3 （曲を選択して録音する）



4 **録音する曲を選ぶ**



5 （録音開始）



知識

- 録音が完了すると録音終了のメッセージが表示され、自動的に録音を停止します。
- 手動で録音するには、（全曲自動録音する）の設定がOFFになっている必要があります。ONの場合でも、一度録音を停止すれば手動録音が可能です。

自動録音の設定をする･･･p.4-40

録音を停止する

録音を途中で停止することができます。

1 （録音停止）



録音終了のメッセージが表示され、録音が停止します。

知識

- 録音を停止すると、録音中の曲は保存されません。再度、録音を開始すると、現在再生中の曲から開始します。

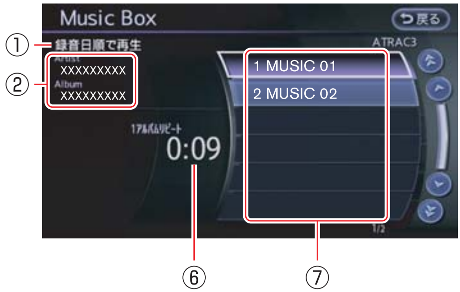
ミュージックボックスを再生する

ミュージックボックス操作画面

● 曲情報画面



● リスト選択画面



① **再生方法**
再生方法を表示します。

② **曲情報**
アーティスト名／アルバム名／トラック名が表示されます。（テキスト情報が記録されている曲を再生しているときに表示されます。）

③ **Playlist追加**
再生中の音楽ファイルをプレイリストに追加します。

④ **メニュー**
プレイモードの選択をします。

⑤ **リスト表示**
アルバム選択画面またはトラック選択画面を表示します。

⑥ **再生時間**
曲が始まってから現在までの時間を表示します。

⑦ **リスト**
アルバムリストまたはトラックリストを表示します。

■ リストから再生する

1 リスト表示



2 アルバム名を選ぶ



3 曲を選ぶ



選択した曲が再生されます。

マルチファンクションディスプレイ
ナビゲーション
地図更新
オーディオ／ビジュアル
電話・データ通信
エアコン
情報を見る／ETC
詳細機能の設定
音声操作
バックビューモニター★
マルチファンクションメータ
付録さくいん

ミュージックボックスの再生を設定する

■ 全曲再生で再生順を変える

❶ メニュー　❷ 全曲再生　❸ 再生順を選ぶ







以下の再生順を設定することができます。

項目	説明
録音日順で再生	録音日時順に全曲を再生します。
アルバム順で再生	アルバム順に全曲を再生します。
アーティスト順で再生	アーティスト順に全曲を再生します。
曲名順で再生	曲名順に全曲を再生します。
発売日順で再生	発売年が新しい順に全曲を再生します。同じ年に発売された楽曲は、Music Boxに録音した日が新しい順に再生します。
Music Navigator	走行シーンにマッチした曲を再生します。Navigator登場頻度がONの場合は、ランダムにシチュエーションにマッチしたDJのセリフが、曲と曲の間に入ります。

知識

- 自動再生中でも走行時の状況にあった曲が再生されない場合があります。

■ 再生方法を選ぶ

アーティスト、アルバム、ジャンルなどいろいろな方法で選曲して再生することができます。再生単位は、アルバム単位になります。

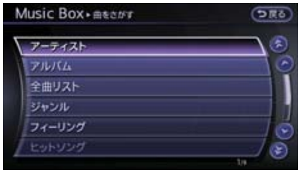
❶ メニュー



❷ 曲をさがす



❸ 選曲方法を選ぶ



以下の再生方法を選択することができます。

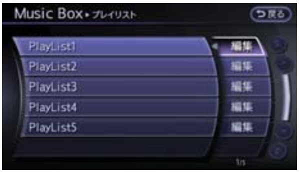
アーティスト	アーティストを選んで再生します。
アルバム	アルバムを選んで再生します。
全曲リスト	録音されているすべての曲から選曲できます。
ジャンル	ジャンルを指定して選曲できます。
フィーリング	明るい曲、いやされる曲、せつない曲、ノリノリな曲の一覧から選曲できます。
ヒットソング	過去にヒットした曲や今ヒットしている曲を選曲できます。
子供向けの曲	童謡や子守歌、子供の歌番組で紹介された曲などを選曲できます。
よく聴く曲	よく聴く曲から順番に再生します。
再生が少ない曲	再生回数の少ない曲を順番に再生します。

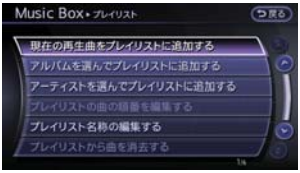
■ プレイリストを再生・編集する

お客さま自身で作成したプレイリストを再生します。また、お好みの曲をプレイリストに追加したり、プレイリストの順番変更や、名称の編集をすることができます。

1 プレイリスト　2 編集　3 項目を選ぶ







プレイリストは、以下の項目を設定することができます。

項目	内容
現在の再生曲をプレイリストに追加する	現在再生している曲をプレイリストに追加します。
アルバムを選んでプレイリストに追加する	ミュージックボックスに録音されているアルバムから曲を選んで、プレイリストに追加します。
アーティストを選んでプレイリストに追加する	ミュージックボックスに録音されているアーティストの曲を選んで、プレイリストに追加します。
プレイリストの曲の順番を編集する	作成したプレイリストの曲順を変更します。
プレイリスト名称の編集する	作成したプレイリストの名称を変更します。
プレイリストから曲を消去する	プレイリストにある曲を選んで消去します。

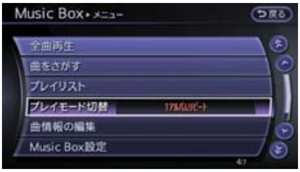
プレイモードを切り替える

再生方法により選べるプレイモードが異なります。

❶ メニュー



❷ プレイモード切替



❸ プレイモードを選ぶ



● ON が設定し、プレイモードが設定されます。

全リピート	全曲を繰り返し再生します。
1アルバムリピート	1アルバムを繰り返し再生します。
1トラックリピート	同じ曲を繰り返し再生します。
1アルバムランダム 1アーティストランダム	1アルバムまたは1アーティスト全曲を自動的に順番を変えて再生します。
全トラックランダム	全曲を自動的に順番を変えて再生します。
1グループランダム 1ジャンルランダム 1プレイリストランダム	1グループまたは1ジャンルまたは1プレイリスト全曲を自動的に順番を変えて再生します。

曲情報を編集する

現在演奏中の曲やアルバムの情報を編集することができます。また録音した音楽CDのタイトル情報が異なっているときや情報を取得できなかった場合、タイトル情報を取得することができます。

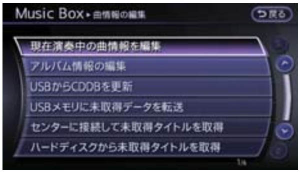
1 メニュー



2 曲情報の編集



3 項目を選ぶ



演奏中の曲やアルバムの情報を編集する場合は、以下の設定をすることができます。

現在演奏中の曲情報を編集	演奏中の曲情報を編集することができます。 **現在演奏中の曲情報を編集する･･･p.4-33**
アルバム情報の編集	アルバム情報を編集することができます。 **アルバム情報を編集する･･･p.4-33**

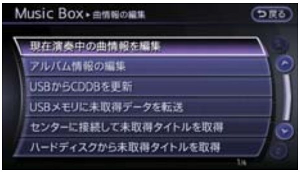
タイトル情報を取得する場合は、以下の設定をすることができます。

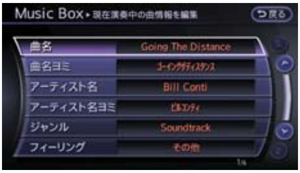
USBからCDDBを更新	USBメモリを使い、パソコンからダウンロードしたタイトル情報をハードディスクに転送し、CDDBを更新します。 **USBメモリを使用してタイトル情報を取得する･･･p.4-36**
USBメモリに未取得データを転送	USBメモリに未取得データを転送して、パソコンでインターネットのGracenoteデータベースからタイトル情報を取得します。 **USBメモリを使用してタイトル情報を取得する･･･p.4-36**
センターに接続して未取得タイトルを取得	インターネットのGracenoteデータベースに接続して、携帯電話でタイトル情報を取得します。 **携帯電話を使用してタイトル情報を取得する･･･p.4-35**
ハードディスクから未取得タイトルを取得	HDDのデータベースからタイトル情報を取得します。 **手動でハードディスクからタイトル情報を取得する･･･p.4-38**

演奏中の曲やアルバムの情報を編集する

■ 現在演奏中の曲情報を編集する

❶ 現在演奏中の曲情報を編集　❷ 項目を選ぶ

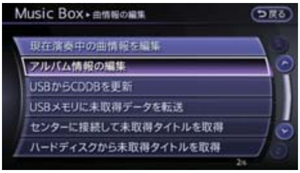


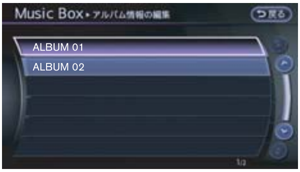


曲名	曲名を編集することができます。
曲名ヨミ	曲名の読みを編集することができます。
アーティスト名	アーティスト名を編集することができます。
アーティスト名ヨミ	アーティスト名の読みを編集することができます。
ジャンル	演奏中の曲のジャンルを設定します。
フィーリング	演奏中の曲のフィーリングを設定します。

■ アルバム情報を編集する

❶ アルバム情報の編集　❷ アルバムを選ぶ　❸ 項目を選ぶ







アルバム名	アルバム名を編集することができます。
アルバム名ヨミ	アルバム名の読みを編集することができます。
曲名を編集	アルバム内の曲情報を編集することができます。 現在演奏中の曲情報を編集する･･･p.4-33

タイトル情報を取得する

音楽CDを挿入して録音を開始すると、録音される音楽CD内にあるタイトル情報を元に本機のHDDにあるタイトル情報データベースから同じタイトルを検索し、タイトル情報と音楽データを結びつけてHDDに格納されます。

タイトル情報とは

取得できるタイトル情報は以下になります。

- アルバムタイトル
- アルバムタイトル読み
- アルバムのアーティスト
- アルバムのアーティスト読み
- アルバムのジャンル
- アルバムの発売年
- トラックタイトル
- トラックタイトル読み
- トラックのアーティスト
- トラックのアーティスト読み
- トラックのジャンル

タイトル情報を取得するには

■ 本機のハードディスク内にタイトル情報データがある場合

本機に音楽CDを挿入すると、自動的にHDDへの録音が開始します。同時にHDD内に収録されているタイトル情報データベースから音楽CD内のタイトル情報を検索します。検索が終了すると、曲情報画面にタイトル情報が表示されます。





■ 本機のハードディスク内にタイトル情報データがなかった場合

タイトル情報データベースからの検索が終了した後に、タイトル情報が表示されない場合は、以下の3つの方法でタイトル情報を取得できます。

- 一番簡単にタイトル情報を取得できます。

  携帯電話を使用してタイトル情報を取得する･･･p.4-35
- パソコンの使いかたに詳しい方にお勧めです。

  USB メモリを使用してタイトル情報を取得する･･･p.4-36
- 全国地図更新を行った後に、ご使用していただくと便利です。

  手動でハードディスクからタイトル情報を更新する･･･p.4-38

携帯電話を使用してタイトル情報を取得する

HDDに収録されているタイトル情報データベースでタイトル情報を取得できなかった場合、携帯電話を使用して、インターネットに接続し、タイトル情報を取得できます。取得方法は、インターネットに「自動的に接続する」か「手動で接続する」の2つの方法があります。

自動的にインターネットに接続する場合

CD録音時にタイトルを自動取得する･･･p.4-42

データを取得するには、はじめに本機と携帯電話を接続する必要があります。

携帯電話を接続する･･･p.5-6

携帯電話を接続した後、以下の操作を行ってください。

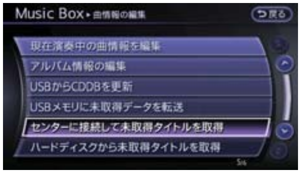
1 メニュー



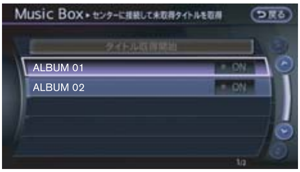
2 曲情報の編集



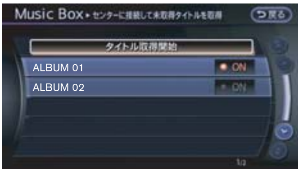
3 センターに接続して未取得タイトルを取得



4 アルバムまたは録音日を選ぶ



5 タイトル取得開始



タイトル取得を開始します。

画面に「設定しました」のメッセージが表示されましたら、タイトル情報の取得が完了です。





知識

- データ通信が開始すると、携帯電話の通信料金がかかります。
- データ通信中は、本機と携帯電話の接続を解除しないでください。

USB メモリを使用してタイトル情報を取得する

未取得のタイトル情報を本機に接続したUSBメモリに転送し、お持ちのパソコンを使用してインターネットに接続し、タイトル情報を取得します。

■ 使用するUSB メモリについて

本機にはUSBメモリが装備に含まれておりませんので、お客さまご自身でご用意ください。

ご使用できるUSBには条件があります。

また、USBメモリには一部対応していない機種があり、すべてのUSB機器の動作を保証するものではありません。

USBメモリについて･･･p.4-44

10MB以上の空き容量があるUSBメモリをご使用ください。

■ タイトル情報取得の流れ

1 タイトル情報を取得する前の準備

お持ちのパソコンで使用する専用アプリケーション「タイトル情報リサーチ」が必要です。専用サイトから「マニュアル」と「アプリケーション」をダウンロードしてください。

タイトル情報サーチ専用サイト：

http://drive.nissan-carwings.com/TITLE_SEARCH/index.htm

詳しくは専用サイトをご覧ください。

※Webサイトのアドレスは都合により、変更させていただく場合があります。

タイトル情報サーチマニュアル



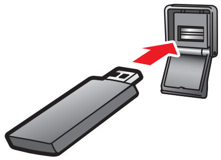
タイトル情報サーチアプリケーション画面



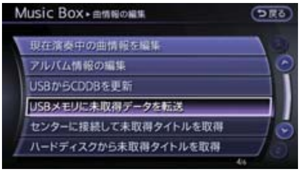
2　本機からUSBメモリに未取得データを転送する

メディア挿入口・・・p.1-9

❶ USBメモリを接続する



❷ USBメモリに未取得データを転送



❸ アルバムを選ぶ



❹ USBへ転送

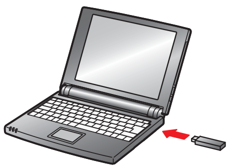


❺ データが転送される



「保存しました」とメッセージが表示されたら、USBメモリへの転送は完了です。USBメモリ内に“export.dat”というファイルができます。

3　USBメモリをパソコンに接続する



未取得データ（export.dat）を取り込んだUSBメモリをお持ちのパソコンに接続します。

専用アプリケーション「タイトル情報サーチ」をインターネットからデータを取得します。詳しい操作方法については、専用サイトのマニュアルをご覧ください。

次ページへつづく▶

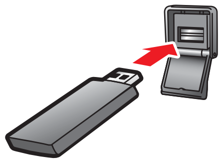
マルチファンクションディスプレイ
ナビゲーション
地図更新
オーディオ／ビジュアル
電話・データ通信
エアコン
情報を見る／ETC
詳細機能の設定
音声操作
バックビューモニター★
マルチファンクションメータ
付録さくいん

4 USBメモリからタイトル情報を更新する

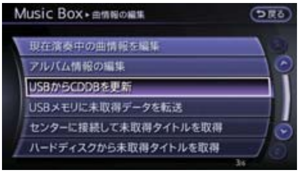
メディア挿入口・・・p.1-9

タイトル情報を取り込んだUSB メモリを本機に接続し、HDD 内の音楽データベースを更新します。

❶ USBメモリを接続する



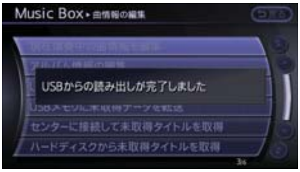
❷ USBからCDDBを更新



❸ データが転送される



❹ データベースが更新される



「USBから読み出しが完了しました」とメッセージが表示されたら、タイトル情報の取得は完了です。

アドバイス

- データの転送が完全に終了するまで、USB メモリをコネクタから抜かないでください。

手動でハードディスクからタイトル情報を取得する

全地図更新を行うと、HDD 内のタイトル情報データベースも新しく更新されます。全地図更新を行った後に、この機能をご使用いただくと便利です。

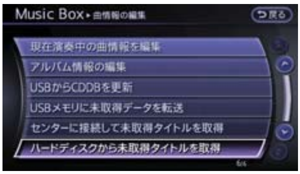
❶ メニュー



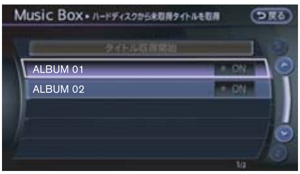
❷ 曲情報の編集



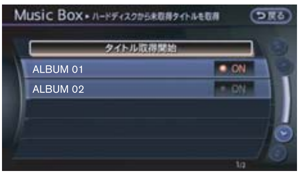
❸ ハードディスクから未取得タイトルを取得



❹ アルバムまたは録音日を選ぶ



❺ タイトル取得開始



HDDのデータベースからタイトル情報の取得を開始します。

ミュージックボックスの設定をする

HDDへの録音設定の変更やHDDに録音した音楽ファイルの初期化をすることができます。

1 メニュー



2 Music Box設定



3 項目を選ぶ



ミュージックボックスは、以下の設定をすることができます。

項目	説明
ハードディスクの空き容量を表示する	ミュージックボックス容量情報が表示されます。 **ハードディスクの容量情報を確認する･･･p.4-40**
フィーリングモードの情報を表示する	登録されているフィーリングモードの情報を表示します。
全曲自動録音する	CDを挿入したときに、自動的に録音するように設定します。 **自動録音の設定をする･･･p.4-40**
音楽を消去する	録音した音楽ファイルを消去します。アルバムまたは1曲を選んで消去します。すべての曲を一括で消去することもできます。 **音楽ファイルを消去する･･･p.4-41**
録音品質を設定する	録音音質を設定します。 **録音品質を設定する･･･p.4-41**
録音時のCDDB自動オンライン設定	HDDに収録されているデータベースに情報がないCDを録音する場合、自動的にインターネットのGracenoteデータベースに接続し、タイトルの取得をします。 **CD録音時にタイトルを自動取得する･･･p.4-42**
Navigator登場頻度	数曲に1回、ランダムにシチュエーションに応じたDJのセリフが入ります。 **Navigator登場頻度を設定する･･･p.4-42**
CDDBのバージョンを表示する	Gracenoteデータベースのバージョンを表示します。 **Gracenoteデータベースのバージョンを確認する･･･p.4-42**

■ ハードディスクの容量情報を確認する

HDDに録音した曲数やアルバム数、残り録音可能時間を確認することができます。

1 （ハードディスクの空き容量を表示する）



2 **情報を確認する**



ミュージックボックス容量情報が表示されます。

知識

- HDD容量が少ないときは、不要な曲を消去して容量を増やすことができます。

音楽ファイルを消去する・・・p.4-41

■ フィーリングモードの情報を表示する

各フィーリングのトラック数と割合をグラフで表示します。

1 （フィーリングモードの情報を表示する）



2 **情報を確認する**



フィーリングモード情報が表示されます。

■ 自動録音の設定をする

CDを挿入したときに自動的に録音を開始する「自動録音」と、再生しているときに録音を開始する「手動録音」を切り替えることができます。

録音をする・・・p.4-25

1 （全曲自動録音する）



● ON が点灯し、CD全曲の自動録音をします。

知識

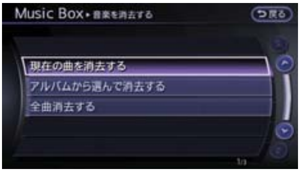
- 初期設定は、（全曲自動録音する）がONに設定されています。

■ 音楽ファイルを消去する

録音した音楽ファイルを消去します。アルバムまたは１曲を選んで消去します。すべての曲を一括で消去することもできます。

❶ 音楽を消去する　❷ 消去方法を選ぶ　❸ はい







音楽ファイルは、以下の方法で消去することができます。

現在の曲を消去する	現在演奏中の曲を消去します。
アルバムから選んで消去する	アルバムを消去します。また、アルバム内の曲を選択して消去することもできます。
全曲消去する	ミュージックボックス内のすべての曲を消去します。

知識

- 消去したアルバムや曲は元に戻すことはできません。消去する場合は、十分注意して行ってください。

■ 録音品質を設定する

録音品質を変更することができます。

❶ 録音品質を設定する　❷ 録音品質を選ぶ





● ON が点灯し、録音品質が設定されます。

以下の録音品質を設定することができます。

曲数を優先する（105kbps）	音質を標準にして曲数を多く録音します。
音質を優先する（132kbps）	曲数を少なくして音質を良く録音します。

知識

- 初期設定は、132kbpsに設定されています。

■ CD録音時にタイトルを自動取得する

HDDに収録されているデータベースに情報がないCDを録音する場合、自動的にインターネットのGracenoteデータベースに接続し、タイトルの取得をします。
インターネットからタイトル情報を取得するには、携帯電話の接続が必要です。

携帯電話を接続する･･･ p.5-6

1 録音時のCDDB自動オンライン設定



ON が点灯し、録音時に自動的にインターネットに接続し、タイトル情報を取得します。

知識

- 携帯電話からタイトル情報を取得するには、携帯電話の設定や接続をする必要があります。
- 携帯電話からタイトル情報を取得するには、通信料金がかかります。また、お使いのプロバイダ料金が別途請求される場合があります。詳しくは、各通信事業者へご確認ください。

■ Navigator登場頻度を設定する

再生順を「自動再生」にしているときのみ、数曲に1回、演奏中の曲に対して走行時の季節・時間帯などシチュエーションに応じた3人のDJのセリフが曲間にランダムに入ります。

1 Navigator登場頻度



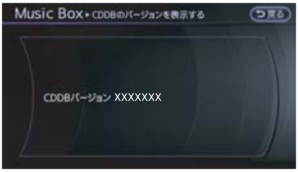
ON が点灯し、DJの自動再生になります。

■ Gracenoteデータベースのバージョンを確認する

1 CDDBのバージョンを表示する



2 バージョンを確認する



知識

- USBメモリを接続して、Gracenoteデータベースのバージョンを更新することができます。

USBメモリを使用してタイトル情報を取得する･･･ p.4-36

データベースについて

音楽CDを再生または録音すると、HDD内に収録されているデータベースからアルバム名、アーティスト名、曲名、ジャンル名などを自動的に検索し、表示します。また、HDDに情報がない場合は、携帯電話またはUSBメモリを用いてインターネットのGracenoteデータベースから情報を取得することができます。
HDDに収録されているデータベースは、Gracenoteデータベースを使用しています。

知識

- 新作CDなど、HDDに情報がない場合は、表示されません。その場合は、携帯電話またはUSBメモリを用いてインターネットのGracenoteデータベースから取得することができます。

USBメモリを使用してタイトル情報を取得する・・・p.4-36
携帯電話を使用してタイトル情報を取得する・・・p.4-35

- 携帯電話からタイトル情報を取得するには、通信料金がかかります。また、お使いのプロバイダ利用料金が請求される場合があります。詳しくは、各通信事業者へご確認ください。
- au WINをケーブル接続でご使用の場合には、機種によってUSB接続設定がありますので「データ転送モード」または「Packet WINモデムモード」に設定してください。（設定方法はお使いの携帯電話の取扱説明書をご覧ください。）
- 情報のデータ量や電波状況によっては、ダウンロードに時間がかかる場合があります。
- 情報の取得が終了すると、電話回線は自動的に切断されます。
- 携帯電話にはご利用できない機種があります。詳しくは日産販売会社またはカーウイングスお客さまセンターにお問い合わせください。

Gracenote音楽認識サービスについて

音楽認識テクノロジー及び関連データは、Gracenote®により提供されます。
Gracenoteは、音楽認識テクノロジー及び関連コンテンツ配信の業界標準です。
詳細については、次の Web サイトをご覧ください：www.gracenote.com

GracenoteからのCD及び音楽関連データ：Copyright ©2000-2008 Gracenote.
Gracenote Software: Copyright 2000-2008 Gracenote.
この製品及びサービスは、以下に挙げる米国特許の1つまたは複数を実践している可能性があります：#5,987,525、#6,061,680、#6,154,773、#6,161,132、#6,230,192、#6,230,207、#6,240,459、#6,330,593、及びその他の取得済みまたは申請中の特許。一部のサービスは、ライセンスの下、米国特許（#6,304,523）用にOpen Globe, Inc.から提供されました。
Gracenote及びCDDBはGracenoteの登録商標です。Gracenoteのロゴとロゴタイプ、及び「Powered by Gracenote」ロゴはGracenoteの商標です。Gracenoteサービスの使用については、次のWebページをご覧ください：www.gracenote.com/corporate

gracenote

USBメモリ

USBメモリに収録された音楽ファイル、映像データ、写真データを再生することができます。(映像ファイルは、DivX、MPEG4(ASF)フォーマット、写真データはJPEGフォーマット、音楽ファイルは、MP3、WMA、MPEG4-AACフォーマットによって作成されたデータを再生することができます)

⚠ 注意

- 静電気や電気的ノイズを受けたり、暖房器具の熱が直接あたる恐れのある場所にUSBメモリを放置しないでください。データが破壊される恐れがあります。
- 安全のため走行中は映像や写真は表示されません。車を完全に停止し、パーキングブレーキをかけたときのみ、ご覧になることができます。

アドバイス

- お客様が編集・収録されるDivXフォーマット映像に
  - **視聴回数制限がある場合**
    本機で視聴可能にするには、事前にユーザーアカウントを取得し、本機を再生機器として登録することが必要です。視聴回数制限がかかったDivXファイルをUSBメモリとディスクの両方に保存して、ディスクの挿入およびUSBメモリの接続を行わないでください。視聴回数制限のカウントが正常に行われない場合があります。
  - **視聴回数制限がない(フリーの)場合**
    そのまま本機で視聴できます。

USBメモリについて

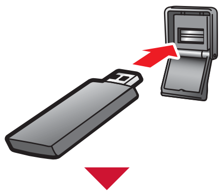
- USBメモリは装備に含まれておりません。お客様ご自身でご用意ください。
- ご使用に際しては、USBメモリが正しく接続されていることをご確認ください。
- USBメモリのフォーマットは本機では行えません。お手持ちのパソコンなどで行ってください。
- USBメモリには一部対応していない機種があります。
- 使用できるUSBメモリの仕様
  - 規格:USB2.0
  - ファイルシステム:FAT16、FAT32
  - 最大メモリサイズ:64GB
  - セクタサイズ:512B
  - クラスタサイズ:32kB以下
- データ収録の制限について
  - 最大ファイル数:5000
  - 最大フォルダー数:255
  - 最大フォルダー階層:8
  - 1ファイルあたりの最大ファイルサイズ:2GB

- 複数のパーテーションに分かれているUSB機器は使用できない場合があります。
- 暗号化やコピープロテクト、著作権保護されたファイルなどは再生できません。
- USBメモリには一部対応していない機種があり、すべてのUSB機器の動作を保証するものではありません。

USBメモリの音楽または映像データを再生する

メディア挿入口・・・p.1-9

❶ USBメモリを接続する





USBメモリを車両側のUSBコネクタに接続します。
USBメモリ操作画面が表示されます。

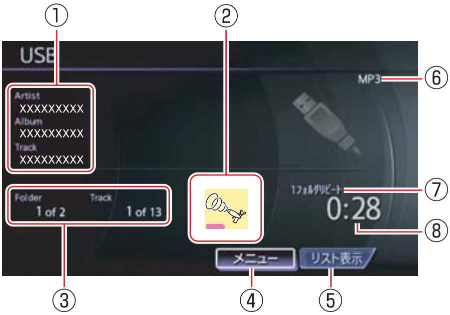
知識

- 複数のファイルがある場合は（音楽コンテンツと映像コンテンツ）選択画面が表示されます。

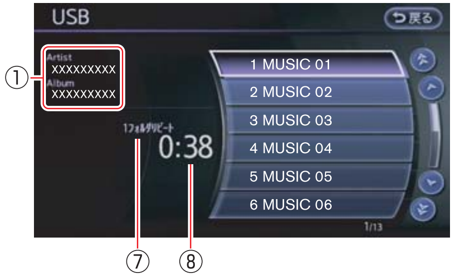
操作画面の見かた

オーディオ操作画面

● 曲情報画面



● トラック選択画面



① **曲情報**
アーティスト名/アルバム名/曲名が表示されます。(テキスト情報が記録されている曲を再生しているときに表示されます。)

② **イメージファイル**
画像ファイルがあるときに表示されます。(MP3のみ)

③ **フォルダ/トラックインデックス**
再生中の曲の入っているフォルダと全フォルダ数を表示します。または再生中の曲と全トラック数を表示します。

④ (メニュー)
プレイモードの切り替えをします。

⑤ (リスト表示)
フォルダリストやファイルリストを表示します。

⑥ **ファイルフォーマット**
再生中のファイルフォーマットが表示されます。(iTunesで作成されたm4aのデータを再生しているときはAACと表示されます。)

⑦ **プレイモード**
プレイモードを表示します。(全リピートのときは表示されません。)

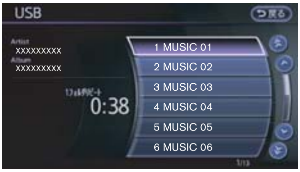
⑧ **再生時間**
曲が始まってから現在までの時間を表示します。

■ リストから選曲する

1 (リスト表示)



2 聞きたい曲を選ぶ



選択した曲が再生されます。

■ プレイモードを切り替える

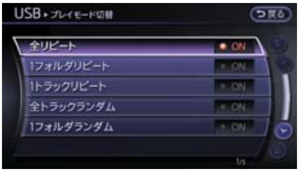
1 (メニュー)



2 (プレイモード切替)



3 プレイモードを選ぶ



● ON が点灯し、プレイモードが設定されます。

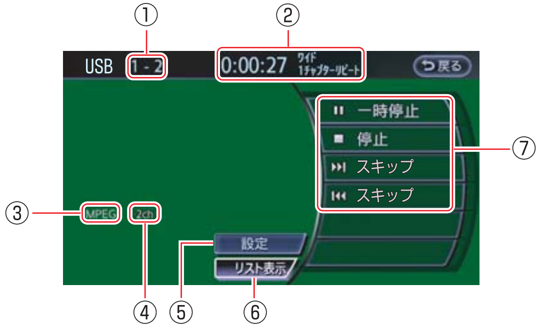
下記のプレイモードを設定することができます。

プレイモード	再生方法
(全リピート)	すべての曲を繰り返し再生します。
(1フォルダリピート)	1つのフォルダの全曲を曲順に繰り返し再生します。（フォルダがある場合のみ）
(1トラックリピート)	1つの曲を繰り返し再生します。
(全トラックランダム)	すべての曲を自動的に順番を変えて再生します。
(1フォルダランダム)	1つのフォルダの全曲を自動的に順番を変えて再生します。（MP3/WMA/AACファイルを含むフォルダが複数ある場合のみ）

知識

- USBメモリ内に映像ファイルもある場合は、リスト画面およびメニュー画面に (映像ファイルリストへ) が表示されます。(映像ファイルリストへ) を選ぶと映像操作画面へ切り替えることができます。

映像操作画面の見かた



① **フォルダ/ファイル番号**

② **再生情報表示**
再生時間、画面サイズ情報、プレイモード情報が表示されます。

③ **音声フォーマット**
音声フォーマットを表示します。

④ **サウンドモード**
ファイルのサウンドモードを表示します。

⑤ 設定
音声や画質などの設定画面を表示します。

⑥ リスト表示
リストを表示します。

⑦ **操作メニュー**
再生、停止などの操作メニューを表示します。

● 操作メニュー

▶再生／II一時停止	フォルダまたはファイルを再生します。 再生されているときは、再生を一時停止します。再度タッチすると再生を再開します。
■停止	再生を停止します。
▶▶Iスキップ	次のフォルダまたはファイルへ進みます。長くタッチすると早送りします。
I◀◀スキップ	1回タッチすると、フォルダまたはファイルの最初に戻ります。2回タッチすると、前へ戻ります。長くタッチすると早戻しします。

知識

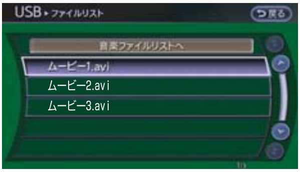
● USBメモリ内に音楽ファイルもある場合は、リスト画面および設定画面に 音楽ファイルリストへ が表示されます。 音楽ファイルリストへ を選ぶとオーディオ操作画面へ切り替えることができます。

■ リストから映像を選ぶ

❶ （リスト表示）



❷ 映像を選ぶ



選んだ再生画面が表示されます。

> **知識**
>
> ● 視聴回数制限のあるファイルの場合には、最初に残りの使用回数を確認する画面が表示されます。メッセージを確認してご視聴ください。

■ プレイモードを切り替える

❶ （設定）



❷ （プレイモード切替）



❸ プレイモードを選ぶ



● ON が点灯し、プレイモードが設定されます。

（全リピート）	すべてのファイルを繰り返し再生します。
（1トラックリピート）	1つのファイルを繰り返し再生します。

■ 音声や画質などの設定をする

❶ 設定



❷ 項目を選ぶ



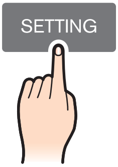
音質や画質などは、以下のように設定することができます。

音楽ファイルリストへ	オーディオ画面に切り替わります。 （音楽ファイルがある場合のみ表示されます。）
プレイモード切替	プレイモードを切り替えます。 **プレイモードを切り替える・・・p.4-49**
10キーダイレクト入力	見たいフォルダ、ファイルを指定して再生することができます。 **10キーダイレクト入力で再生をする・・・p.4-80**
画質調整	明るさ、コントラストなどの画質調整ができます。 **画質の調整をする・・・p.4-83**
ダイナミックレンジコントロール	ダイナミックレンジコントロール（DRC）機能のON/OFFを設定できます。 **ダイナミックレンジコントロールを設定する・・・p.4-82**
音声	ファイルに収録されている音声を切り替えることができます。 **音声を切り替える・・・p.4-83**
字幕	ファイルに収録されている字幕の言語を切り替えることができます。 **字幕を切り替える・・・p.4-84**
画面設定	ワイド、フル、ノーマル、シネマから選びます。 **画面の縦横比について・・・p.4-70**

イメージビューワー

USBメモリに保存した画像データを画面に表示します。

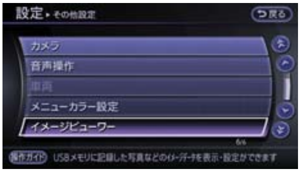
❶



❷ その他設定



❸ イメージビューワー



❹ フォルダを選ぶ



❺ ファイルを選ぶ



全画面表示でイメージビュー画面に切り替わります。

操作画面の見かた



① **操作メニュー**
再生、停止などの操作メニューを表示します。

② 設定
イメージビューワーの設定画面を表示します。

次ページへつづく▶

●操作メニュー

▶	スライドショーを開始します。 次のイメージに変わる時間で自動で変わらないを選択していると再生は選択できません。
■	スライドショーを停止します。
▶▶|	次のファイルへ進みます。
|◀◀	前のファイルへ戻ります。

イメージビューワーを設定する

全画面表示時のイメージ表示設定をします。

1 設定



2 項目を選ぶ



以下を設定することができます。

次のイメージに変わる時間	次のイメージに変わる時間を自動で変わらない、5秒、10秒、30秒、60秒から選択できます。 自動で変わらないを選択すると、画像は自動で切り替わりません。
イメージ表示の順番	リスト順、ランダムから選択できます。

知識

- 対応フォーマット：JPEG（拡張子jpg.、jpeg.）
  ただし、プログレッシブJPEG は表示しません。
- 対応ファイルサイズ：2MB 以下
- 対応サイズ：1.536×2.048 ピクセル以下
- デジカメ等の電子機器でUSB ケーブルを使った直接的な接続は使用できません。
- 対応していないフォーマット、サイズのときは右のように表示されます。
- ファイル名が長すぎる場合は省略される場合があります。



Bluetooth®オーディオ

Bluetooth® 通信機能を備えたオーディオ機器や携帯電話を車載機にワイヤレスで接続し、音楽を聞くことができます。

Bluetooth®オーディオについて

- Bluetooth®オーディオ機器は、機種によりご利用できないものがあります。ご利用いただけるBluetooth®オーディオ機器については日産販売会社またはお客様相談室へお問い合わせください。
- Bluetooth®オーディオを使用するには、オーディオ機器の初期登録を行う必要があります。

Bluetooth®オーディオ機器を初期登録する・・・p.4-54

- Bluetooth®オーディオは接続するオーディオ機器によっては動作が異なる場合があります。ご利用になる前に操作方法の確認を行ってください。
- 以下のときはBluetooth®オーディオの再生は一時停止します。下記動作が終了すると、Bluetooth®オーディオの再生を再開します。
  - カーウイングスによるデータダウンロード中(手動または自動)
  - 交通情報の受信中
  - ハンズフリー通話中
  - 携帯電話の接続確認中
- Bluetooth®通信用の車両側アンテナは、本機に内蔵されていますので、Bluetooth®オーディオ機器を金属に覆われた場所や本機から離れた場所においたり、シートや身体の間に密着させた状態では音が悪くなったり接続できない場合があります。
- Bluetooth®接続を行うと、通常よりBluetooth®オーディオ機器の電池の消耗が早くなります。
- 本機は、Bluetooth®AVプロファイル(A2DP、AVRCP)に対応しています。

Bluetooth®

Bluetooth®およびBluetooth®ロゴは、Bluetooth SIG, Inc.の登録商標であり、クラリオン株式会社は、ライセンスに基づいて使用しています。

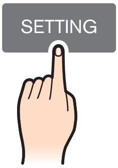
Bluetooth®オーディオ機器を初期登録する

Bluetooth®オーディオを聞くには、Bluetooth®オーディオ機器を本機に登録する必要があります。

アドバイス

- 車内に別のBluetooth®オーディオ機器がある場合は、電源をOFFにしてください。

1



2 Bluetooth



3 機器登録



4 いいえ



5 パスキーを入力し、決定



Bluetooth®オーディオ機器が登録されます。

登録操作について

以下の画面が表示されたらBluetooth®オーディオ機器で登録操作を行ってください。



操作方法は、Bluetooth®オーディオ機器の取扱説明書をご覧ください。

入力したパスキーと登録機器のパスキーが異なる場合は、キャンセルを選び、パスキーの変更を行ってください。Bluetooth®オーディオ機能のある携帯電話機を登録する場合は、メッセージが表示されたら携帯電話機を操作して接続を行ってください。携帯電話機の接続操作は、お使いの携帯電話機の取扱説明書をご覧ください。Bluetooth®オーディオ機器の登録が終了するとメッセージが表示されます。

知識

- パスキーとは、Bluetooth®オーディオ機器を本機に登録するためのパスワードです。登録機器のパスキーについては、Bluetooth®オーディオ機器の取扱説明書をご覧ください。
- Bluetooth®オーディオ機器は、Bluetooth®携帯電話機と合わせて5台まで登録することができます。すでに5台まで登録してある場合は、登録されているBluetooth®オーディオ機器を1台消去してから登録してください。

オーディオ機器の登録を消去する・・・p.4-60

- ハンズフリーフォンとして登録された携帯電話のオーディオを使用する場合、携帯電話機で使用するサービスを選択する必要があります。詳しくは携帯電話機の操作手順書を参照ください。
- Bluetooth®オーディオ機器を登録すると、自動的に接続するBluetooth®オーディオ機器に設定されます。別の登録機器を使用したい場合は、オーディオ機器の選択を行ってください。

接続するオーディオ機器を切り替える・・・p.4-59

Bluetooth® オーディオを聞く

1 TV・AUX を押す



Bluetooth® オーディオ操作画面が表示されます。

TV・AUX を押すごとにモード（ソース）が切り替わります。

Bluetooth® オーディオ再生時の注意事項

注意

- 安全のためBluetooth®オーディオ機器の操作は必ず停車中に行ってください。

- オーディオ機器として登録、選択されていないBluetooth® オーディオ機器をONにしても本機で聞くことはできません。
- Bluetooth® オーディオ画面表示中にオーディオ機器の電源をOFFにすると、接続が切断され、メッセージが表示されます。再び電源をONにすると自動で接続されますが、接続されない場合は TV・AUX を押し、再度Bluetooth® オーディオを選択してください。
- 携帯電話の接続確認中（ を押したときなど）は、Bluetooth® オーディオの再生が一時停止します。接続確認が終了すると、オーディオの再生を再開します。
- オーディオ機器の置き場所や、Bluetooth® 無線通信の電波状態によっては、音飛びが発生する場合があります。
- Bluetooth® の規格バージョンによっては、曲情報などが表示されない場合があります。

Bluetooth®オーディオ操作画面の見かた



① **曲情報**
アーティスト名／アルバム名／曲名が表示されます。(テキスト情報が記録されている曲を再生しているときに表示されます。)

② (メニュー)
再生方法やプレイモードを選ぶことができます。

③ **プレイモード**
プレイモードを表示します。(全リピートのときは表示されません。)

④ **再生時間**
曲が始まってから現在までの時間を表示します。

● 操作メニュー

(▶再生)	曲を再生します。 曲が再生されているときは、再生を一時停止します。
(II一時停止)	再生を一時停止します。 再度タッチすると再生を再開します。

知識

- Bluetooth®接続の設定がONのときのみ、操作画面が表示されます。

Bluetooth® 接続をする／しない・・・p.4-58

- 接続するBluetooth®オーディオ機器によっては、再生が開始されるまで、数10秒程度かかることがあります。
- 使用するBluetooth®オーディオ機器の機種によっては、一部の操作メニューが使用できないことがあります。

■ コントロールパネルの操作

TRACK⏭	押すごとに次の曲に変わります。長く押すと、曲を早送りします。
⏮ SEEK	押すごとに前の曲に変わります。 演奏中に1回押すと、曲の最初に戻ります。 演奏中に2回押すと、前の曲に戻ります。 長く押すと、曲を早戻しします。

■ プレイモードを切り替える

(メニュー) → (プレイモード切替)を選択すると、プレイモードを選ぶことができます。

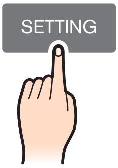
以下のプレイモードを設定することができます。

(シャッフル)	自動的に曲順を変えて再生します。シャッフルの設定を(オフ)、(全曲)、(グループ)から選ぶことができます。
(リピート)	曲順に繰り返し再生します。リピートの設定を(オフ)、(1曲)、(全曲)、(グループ)から選ぶことができます。

Bluetooth® オーディオの設定をする

Bluetooth® オーディオを活用するために、いろいろな設定をすることができます。

1



2 Bluetooth



3 項目を選ぶ



Bluetooth® オーディオは以下の設定をすることができます。

Bluetoothで接続	Bluetooth® 接続のする／しないを設定します。 **Bluetooth® 接続をする／しない・・・p.4-58**
機器登録	Bluetooth® オーディオ機器の登録、ユーザ設定をします。 **Bluetooth® オーディオ機器を初期登録する・・・p.4-54**
機器の接続切替・編集・消去	オーディオ機器の選択や名称編集、消去をすることができます。 **接続するオーディオ機器を切り替える・・・p.4-59** **オーディオ機器の名称を変える・・・p.4-59** **オーディオ機器の登録を消去する・・・p.4-60**
車載機のBluetooth情報・変更	車載機のパスキーとデバイス名の変更をします。 **車載機の Bluetooth® 情報を見る・・・p.4-60**

Bluetooth® 接続をする／しない

1 Bluetoothで接続



● ON が点灯し、Bluetooth® 接続をするように設定されます。

知識

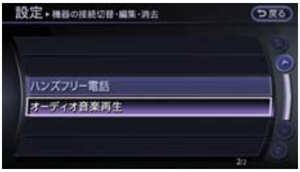
- Bluetooth®接続の設定は、ハンズフリーフォンと共通です。Bluetooth®接続をしない設定にすると、ハンズフリーフォンのBluetooth®接続もできなくなります。

接続するオーディオ機器を切り替える

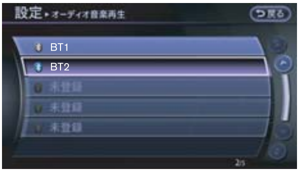
1 機器の接続切替・編集・消去



2 オーディオ音楽再生



3 機器を選ぶ



4 選択する



使用する機器が切り替わります。

知識

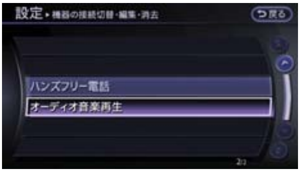
- 表示されるリストには、ハンズフリーフォンとして登録した携帯電話機も表示されます。必ずBluetooth®オーディオ機器として登録した機器を選んでください。

オーディオ機器の名称を変える

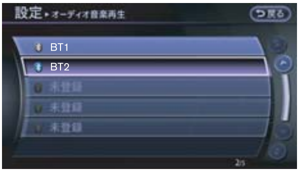
1 機器の接続切替・編集・消去



2 オーディオ音楽再生



3 機器を選ぶ



4 編集する



5 デバイス名



6 名称を入力し、終了



7 決定



使用する機器の名称が変わります。

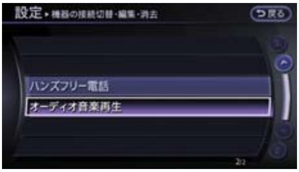
マルチファンクションディスプレイ
ナビゲーション
地図更新
オーディオ／ビジュアル
電話・データ通信
エアコン
情報を見る／ETC
詳細機能の設定
音声操作
バックビューモニター★
マルチファンクションメータ
付録さくいん

オーディオ機器の登録を消去する

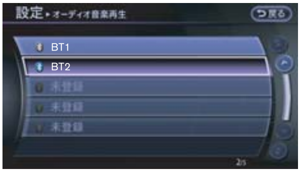
❶ 機器の接続切替・編集・消去



❷ オーディオ音楽再生



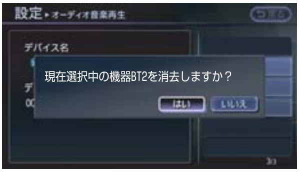
❸ 機器を選ぶ



❹ 消去する



❺ はい



登録が消去されます。

知識

- ハンズフリーフォンとして登録した機器を消去すると、Bluetooth®通信を用いたハンズフリー機能も使用できなくなります。

車載機の Bluetooth® 情報を見る

❶ 車載機のBluetooth情報・変更



❷ 項目を選ぶ



❸ 決定



車載機のBluetooth®情報は、以下の項目を確認、修正することができます。

パスキー	車載機のパスキーを変更することができます。
デバイス名	車載機のデバイスの名称を変更することができます。
デバイスアドレス	車載機のデバイスアドレスを表示します。

iPod

お使いのiPod®を本機に接続して音楽を聞くことができます。
iPodは、米国及び他の国々で登録されたApple Inc.の商標です。

⚠ 注意

- 安全のため走行中はジャケット写真は表示されません。
  車を完全に停止し、パーキングブレーキをかけたときのみご覧になることができます。

知識

- ナビに接続するiPodやiPod付属ケーブルを、エアバッグの作動を妨げるような場所に設置しないでください。エアバッグが正常に作動しなくなったり、SRSエアバッグの作動時にiPodが飛ばされるなどにより、死亡・重傷に至ることがあります。
- 接続するiPodやiPod付属ケーブルを、運転の邪魔にならない場所に固定するなどしてください。運転に支障をきたし、交通事故の原因になることがあります。
- 運転中は、運転者自身によるiPodの接続・操作・取り外しをしないでください。

iPodについて

接続可能なiPod、ソフトのバージョンについては、以下のとおりです。

接続可能なモデル・ファームウエアバージョンは変更になる可能性があります。最新状況は以下のURLでご確認ください。

http://www.nissan.co.jp/OPTIONAL-PARTS/NAVI_AUDIO/MOP/index.html

iPod Classic	Ver.2.0.3
iPod nano 第5世代	Ver.1.0.1
iPod nano 第4世代	Ver.1.0.4
iPod nano 第3世代	Ver.1.1.3
iPod nano 第2世代	Ver.1.1.3
iPod nano 第1世代	Ver.1.3.1
iPod 第5世代	Ver.1.2.3
iPod Touch 第3世代	Ver.3.1.2
iPod Touch 第2世代	Ver.3.1.1
iPod Touch 第1世代	Ver.2.0

動画、静止画表示には対応していません。

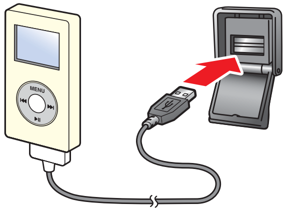
- iPod shuffle、iPod mini、iPod Photo、iPod第3世代、iPod第4世代、iPhone には対応していません。
- iPodの動作については全てを保証するものではありません。
- iPod nanoをご使用の際、オーディオブックの表示位置にオーディオブックが表示されない場合があります。
- iPodを接続しても操作ができない場合は、iPodを外して時間をおいてから再度接続してください。
- iPodの接続対象機種一覧に記載があっても、ファームウェアのバージョンによって動作しない場合があります。
- iPod内のビデオファイルの再生はできません。
- iPodご使用の際の制約事項につきましては、「iPodの制約事項について」をお読みください。

iPodの制約事項について・・・p.12-47

マルチファンクションディスプレイ ナビゲーション 地図更新 オーディオ／ビジュアル 電話・データ通信 エアコン 情報を見る／ETC 詳細機能の設定 音声操作 バックビューモニター★ マルチファンクションメータ 付録 さくいん

iPodを本機に接続する

1 iPodを接続する



iPodの接続ケーブルを車両側のUSBコネクタに接続します。

iPod操作画面が表示されます。

メディア挿入口・・・p.1-9

アドバイス

- 最新のiPodソフトウェアにてお使いください。
- iPodの機種やファームウェアバージョンによっては、一部機能の制限があります。
- 本機でiPodを使用しているときにiPodのデータが消失しても、消失したデータの補償はできませんのでご容赦ください。
- 写真ファイルが入っているiPodを接続しても、写真ファイルの再生には対応していません。
- iPodやiPod付属ケーブルを直射日光のあたるところに長時間放置すると、高温により変形・変色したり、故障する恐れがあります。使用しないときは、直射日光のあたらないところに保管してください。
- ジャケット写真に対応した音楽ファイルを再生した場合、iTunesで指定した画像のみが本機に表示されます。

知識

- USBコネクターケーブルは、装備に含まれておりません。お客さまご自身でご用意ください。
- 接続すると、iPodからの操作はできません。
- 本機と接続中、iPodは充電されます。
- 本機と接続するときは、iPodのヘッドホンなどのアクセサリーを使用しないでください。正しく動作しない場合があります。
- 接続するiPodの取扱説明書も併せてご覧ください。

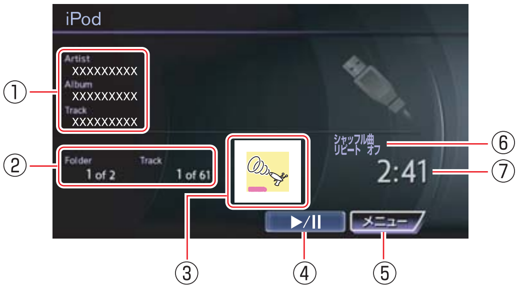
iPodを聞く

❶ TV・AUX を押す



iPod操作画面が表示されます。
押すごとに、オーディオモード（ソース）が切り替わります。

iPod操作画面の見かた



① **曲情報**
アーティスト名／アルバム名／曲名が表示されます。（テキスト情報が記録されている曲を再生しているときに表示されます。）また、Podcast再生中はアーティスト名の代わりにリリース日を表示します。

② **トラックインデックス**
現在再生中のトラックインデックスと再生曲の含まれる総インデックスを表示します。

③ **イメージファイル**
画像ファイルがあるとき、表示されます。

④ ▶/II **（再生／一時停止）**
曲を再生または一時停止します。再度選択すると再開します。

⑤ メニュー
再生方法やプレイモードを選ぶことができます。
また、前画面が曲リスト画面のときには、選択すると曲リスト画面に戻ります。

⑥ **プレイモード**
プレイモードを表示します。

⑦ **再生時間**
曲が始まってから現在までの時間を表示します。

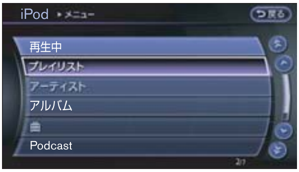
iPod再生の設定をする

いろいろな選曲方法から曲を探して、再生します。

1 (メニュー)



2 再生方法を選ぶ



3 リストを選ぶ



聞きたい曲を選ぶと、選んだ曲が再生されます。

iPodの再生は、以下の再生方法があります。

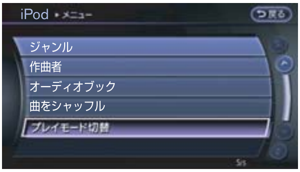
(再生中)	すでにiPodを接続しているときに選択すると、再生が開始されます。
(プレイリスト)	プレイリストから選曲します。
(アーティスト)	アーティストのリストから選曲します。
(アルバム)	アルバムリストから選曲します。
(曲)	曲名リストから選曲します。
(Podcast)	Podcastのリストから選曲します。
(ジャンル)	クラシック、ジャズなどのジャンルリストから選曲します。
(作曲者)	作曲者のリストから選曲します。
(オーディオブック)	オーディオブックのリストから選曲します。
(曲をシャッフル)	iPod内のすべての曲が自動的に順番を変えて再生されます。
(プレイモード切替)	プレイモードを切り替えます。 プレイモードを切り替える・・・p.4-65

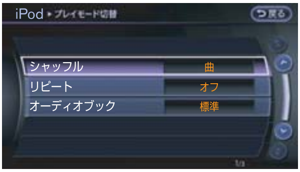
知識

- 操作をしないで2秒以上経過すると、選択されているプレイリスト内の曲を自動的に再生します。

■ プレイモードを切り替える

❶ （プレイモード切替） ❷ プレイモードを選ぶ





以下のプレイモードを設定することができます。

（シャッフル）	自動的に曲順を変えて再生します。 シャッフルの設定を（オフ）、（曲）、（アルバム）から選ぶことができます。
（リピート）	曲順に繰り返し再生します。 リピートの設定を（オフ）、（1曲）、（すべて）から選ぶことができます。
（オーディオブック）	オーディオブックの再生速度を（やや遅い）、（標準）、（やや速い）から選ぶことができます。

プレイモードは、シャッフルとリピートを以下のように組み合わせて設定することができます。

シャッフルモード リピートモード	オフ	曲	アルバム
オフ	オフ	シャッフル	アルバム シャッフル
1曲	1曲リピート	1曲リピート	1曲リピート
すべて	全曲リピート	全曲 シャッフル リピート	全アルバム シャッフル リピート

DVD（VIDEO-CD）

注意

- 安全のため、走行中はDVD画面は映りません。車を完全に停止し、パーキングブレーキをかけたときのみ、ご覧になることができます。それ以外では走行中と判断し、「画像は停止中にお楽しみください」と表示され、音声のみとなります。

必ずお読みください

DVDディスクによってはディスク制作者の意図により、お客さまの操作に対して各種操作を受け付けないディスクや、お客さまの操作意図と違う動作をするディスクがあります。

操作した動作が禁止されている場合は、「!現在その操作ができません」と画面に表示されます（ディスクによっては表示されない場合もあります）。

再生できるディスクの種類

<table>
<tr><th colspan="3">再生できるディスク</th><th></th></tr>
<tr><td>DVD</td><td>DVD-ROM
DVD±R
DVD±RW
DVD±R DL</td><td>片面１層
片面２層
両面１層
両面ミックス
両面２層</td><td rowspan="2">・ CD-R、CD-RWはDVDビデオ方式で録画したもののみ再生できます。また、記録面の反射率が低いため、データを読み出せない場合があります。
・ DVD-R、DVDV-RW、DVD+R、DVD+RW、DVD-R DL、DVD+R DLはディスクや記録状態によっては再生できない場合があります。DVD+R、DVD-R DLは、記録状態によってはレイヤー（１層／２層）の切り替え時に映像や音声が途切れる場合があります。</td></tr>
<tr><td>CD</td><td colspan="2">CD-ROM（CD-DA）
CD-RW
CD-R
dts-CD</td></tr>
</table>

※ 12cmディスクのみの対応です

※ ブルーレイディスク、DVD-RAMは再生できません

知識

- レンズクリーナーはピックアップ故障の原因となるおそれがありますので使用しないでください。

再生できるフォーマット		
音楽データ	MP3 WMA AAC	・DivXは拡張子がavi、又はdivxのファイルのみ、MPEG4は、拡張子がasf、又はaviのASF形式のみ再生できます。 **コーデックの組み合わせについて・・・p.4-93** ・DivXフォーマット映像に視聴回数制限がある場合は、事前にユーザーアカウントを取得する必要があります。 **DivXのディスクを再生する・・・p.4-86**
映像データ	DVD-VIDEO DVD-VR VIDEO-CD MPEG4-ASF DivX	

知識

- 本機では、映像信号がNTSC方式およびPAL方式で記録されたディスクを再生することができます。
- CD-R、CD-RWは再生できない場合があります。

リージョンコードについて

リージョンコードとは

リージョンコードとは、映画の配給権保護や海賊版の防止を目的としてつくられた、地域別の再生管理コードのことです。DVDプレーヤーとDVDディスクにそれぞれ、地域別のコードを記録することで、プレーヤー側とディスク側のリージョンコードが合致しなければ、再生が行われない仕組みになっています。

※ DVDソフトの中には、複数のリージョンコードを持つもの（例えば、「1」と「2」）や、全地域で再生可能なもの（「ALL」）があります。

リージョンコードの地域分け

リージョンコードは全世界で、6つのエリアに分けられています。日本の地域コードは、欧州や南アフリカ共和国と同じ2番が割り当てられています。



※番号は地域ごとに違います

本DVDプレーヤーで再生可能なリージョンコードは、「2」「ALL」「2を含むもの」の製品です。

マルチファンクションディスプレイ
ナビゲーション
地図更新
オーディオ／ビジュアル
電話・データ通信
エアコン
情報を見る／ETC
詳細機能の設定
音声操作
バックビューモニター★
マルチファンクションメータ
付録さくいん

著作権および商標について

- 本機は、マクロビジョンコーポレーションおよびその他の権利者が保有する、米国特許権およびその他の知的所有権によって保護された著作権保護技術を採用しています。
- この著作権保護技術はマクロビジョンコーポレーションの許可なく使用できません。また、同社の特別な許可がない限り、一般家庭その他における限られた視聴用だけに使用されるようになっています。
- 改造、または分解は禁止されています。
- 本機は、ドルビーラボラトリーズからの実施権に基き製造されています。
- Dolby、ドルビー、Pro Logic、MLP LosslessおよびダブルD記号は、ドルビーラボラトリーズの商標です。
- DTSおよびDTS 2.0はDTS社の登録商標です。
- DivX、DivX Certified、および関連するロゴは、DivX, Inc. の商標です。これらの商標は、DivX, Inc. の使用許諾を得て使用しています。

DVD-VIDEOの仕様表記について

DVD-VIDEOソフトのレーベル面とパッケージには、下のようにディスクのいろいろな仕様が分かる表記が記載されています。
この表記により、DVDソフトに本機が対応できるかを確認することができます。

仕様表記（一般例）：

①　②　③　④　⑤

DL-12345	123min	片面･一層	color	MPEG2	1999 製作	字幕 ○○○○	複製不可

① 1 オリジナル(英語) ドルビーサラウンド	② 1 日本語字幕 2 英語字幕	16:9　LB	DOLBY DIGITAL	2 NTCS 日本市場向け	DVD VIDEO	9

⑥　⑦　⑧　⑨　⑩　⑪

① ディスク部番

② 収録時間

③ ディスクの種類

再生できるディスクの種類
・・・p.4-66

④ カラー／モノクロ

⑤ 映像フォーマット

⑥ 対応言語（音声）

音声を切り替える
・・・p.4-83

⑦ 対応言語（字幕）

字幕を切り替える
・・・p.4-84

⑧ アスペクト比

画面の縦横比について
・・・p.4-70

⑨ 音声フォーマット

著作権および商標について
・・・p.4-68

⑩ リージョンコード番号

リージョンコードについて
・・・p.4-67

⑪ アングル

アングルを切り替える
・・・p.4-81

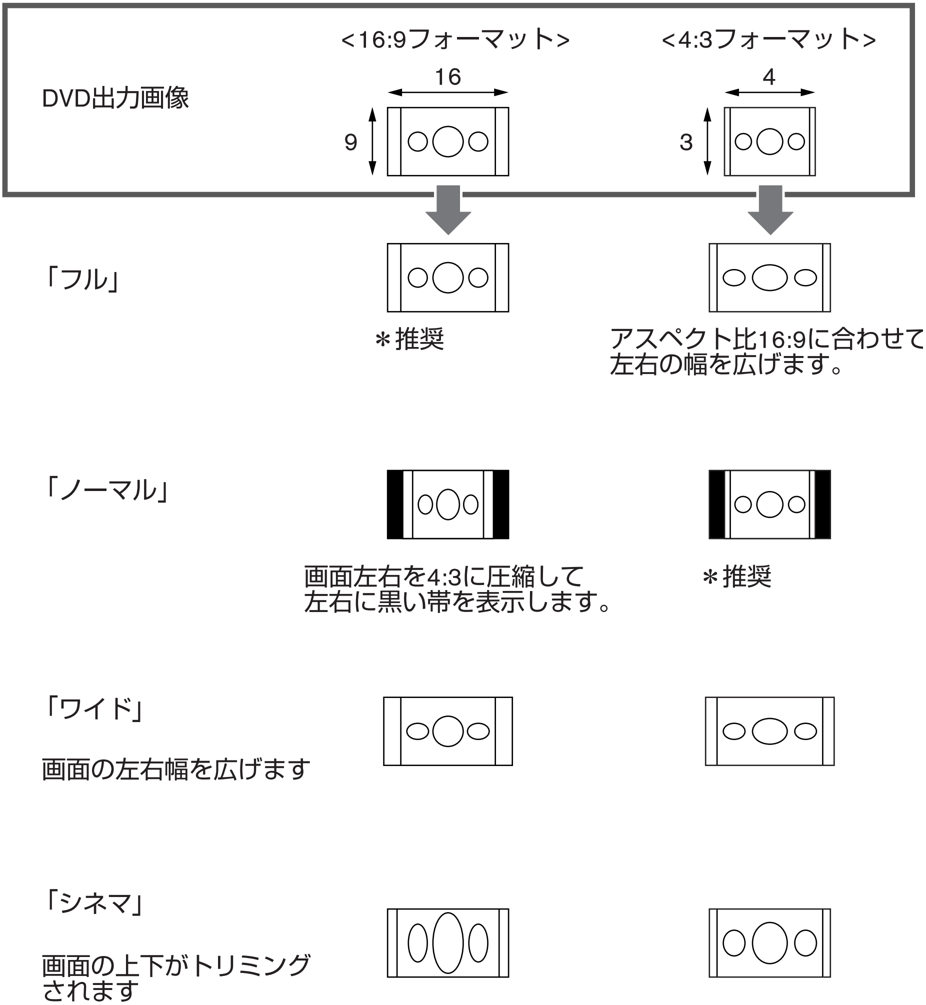
パレンタルレベル（視聴制限）について

本DVDプレーヤーは視聴制限のかかったDVDディスクでも再生できます。再生するDVDディスクの視聴レベルは、お客さまのご判断によりお願いいたします。

画面の縦横比について

画面の縦横比率をアスペクト比といいます。
家庭用テレビのアスペクト比は、一般的な4:3（1.33:1）とワイドTVの16:9（1.78:1）の2つの規格が存在します。また、DVD（DVD-VIDEO）側に記録されている映像も4:3フォーマットのものと16:9フォーマットのものがあります。
そこで、DVD（DVD-VIDEO）では、映像のアスペクト比（画面の縦横比率）を、モニター側のアスペクト比に合わせる処理が行われます。（16:9フォーマットの映像の左右をトリミングしたものを「パン＆スキャン」といいます。）

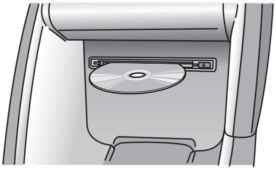
本機では、16:9フォーマットのソフトを利用するときは「フル」、4:3フォーマットのソフトを利用するときは、基本的に「ノーマル」を選択してください。また、お好みに合わせて「ワイド」、「シネマ」を選択することもできます。



DVDを再生する

ディスクを入れて再生する

1 ディスクを挿入する



ディスクを読み込み自動的に再生が始まります。

アドバイス

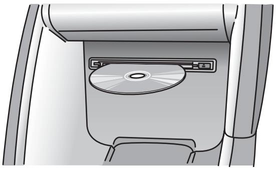
- 故障の原因となりますので、挿入口にCDまたはDVD以外の物を入れないでください。
- ディスクを挿入するときは、すでに別のディスクが入っていないことを確認してから挿入してください。

知識

- DVDはレーベル面を上にして挿入口に入れてください。
- 市販のDVDソフトによっては、本編再生の前に固有のメニューが表示される場合がありますので、メニューに従って再生してください。
- すでにディスクが入っている場合は、DVD操作画面が表示されるまで DISC を押してください。

■ ディスクを取り出す

1 ⏏ を押す

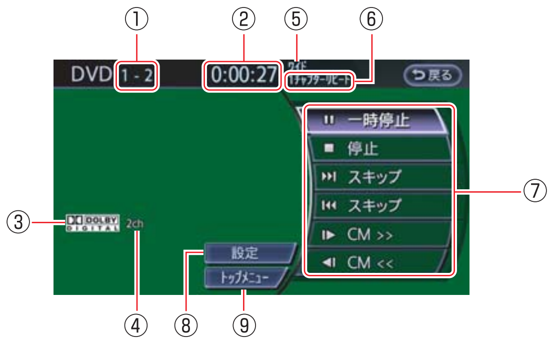


ディスクが排出されます。

排出されたディスクをそのままにしておくと、オートリロード機能が働き、ディスクが再び引き込まれます。

DVD操作画面の見かた

操作画面はディスクを入れて再生が始まるといったん表示されますが、数秒後に消えます。再度、操作画面を表示するには DISC を押すか、再生中に画面をタッチします。



① **タイトル/チャプター表示（DVD-VIDEO再生時）**
トラック（VIDEO-CD再生時）
現在再生中のタイトル/チャプター/グループ/トラック番号を表示します。

② **再生時間**
チャプター/トラックの始まってから現在までの時間を表示します（ディスクの再生が始まってから現在までの時間を表示するディスクもあります）。

③ **ディスクの音声フォーマット（記録形式）の種類**
Dolby digital、MLP、MPEG、LPCMなどの音声フォーマットを表示します。

④ **サウンドモード**
ディスクのサウンドモードを表示します。

⑤ **画面設定**
現在の画面設定を表示します。

⑥ **プレイモード**
プレイモードを表示します。

⑦ **操作メニュー**
再生、停止などの操作メニューを表示します。
（操作メニューは、ディスクによって異なります。）

画面を操作する・・・p.4-73

⑧ 設定
各種機能の設定画面を表示します。

各種機能の設定をする・・・p.4-76

⑨ トップメニュー
ソフト固有のメニューを表示します。

知識

- ソフトによっては、ソフト固有のメニュー画面が表示されることがあります。ソフト固有のメニューはタッチパネルで操作することができます。
- ソフトのメニュー画面上に操作画面が表示されることがあります。操作画面が消えてからメニューを操作してください。

画面を操作する

■ 再生を停止する／再開する

1 （■停止）



再生が停止します。

停止中は（▶ 再生）に表示が変わります。

知識

- 再生中に VOL / PUSH ON・OFF を押しても再生停止、再開することができます。
- （▶ 再生）を選択すると、停止したところから再生が始まります。
- 停止中にもう一度（■停止）に選択すると、「レジュームキャンセルしました」というメッセージが表示されます。（▶ 再生）に選択すると、ディスクの最初から再生します。

■ 一時停止する／再開する

1 （II 一時停止）



再生が一時停止します。

一時停止中は（▶ 再生）に表示が変わります。

知識

- （▶ 再生）を選択すると、停止したところから再生が始まります。

■ 次のトラック／チャプターに進む

1 （▶▶I スキップ）



次のトラック／チャプターに進みます。

知識

- TRACK ▶▶I を押すか、ステアリングスイッチの SEEK を下側に倒しても次のトラック／チャプターに進むことができます。

■ 現在のトラック／チャプターの最初に戻る

1 ⏮スキップ



現在のトラック／チャプターの最初に戻ります。

知識

- ⏮ SEEKを押すか、ステアリングスイッチのSEEKを上側に倒しても現在のトラック／チャプターの最初に戻ることができます。

■ 前のトラック／チャプターに戻る

1 ⏮スキップ



2 ⏮スキップ



タッチした回数だけ、前のトラック／チャプターに戻ります。

知識

- ⏮ SEEKを押すか、ステアリングスイッチのSEEKを上側に倒しても前のトラック／チャプターに戻ることができます。

■ 早送り／早戻しをする

1 ⏭スキップ(長押し) ／
⏮スキップ(長押し)



タッチしている間、早送り、早戻しをします。
指を離すと、再生を始めます。

知識

- TRACK⏭または⏮ SEEKを押しても早送り／早戻しをすることができます。

■ CM送り／CM戻しをする

再生中の映像を一定の秒数だけ早送り／早戻しすることができます。CMなどを飛ばしたいときに使います。

DVD-VIDEO、DVD-VR再生時のみ表示されます。DivXにこの機能はありません。

1 （I▶ CM >>）／（◀I CM <<）



タッチするごとに設定した間隔で早送り／早戻しされます。

15秒、30秒、60秒から設定します。

CMをスキップする・・・p.4-82

■ 画面にメニューを表示させます。

DVD-VIDEO再生時のみ表示されます。

1 （トップメニュー）



画面にメニューが表示されます。

> **知識**
>
> ● メニューはソフトにより異なります。詳細については各ソフトをご覧ください。

各種機能の設定をする

DVDプレーヤーには音声言語や字幕言語を切り替える機能や、字幕の有無を設定できる機能などがあります。

1 操作画面を表示する



2 設定



3 項目を選ぶ



DVD機能は、以下の項目を設定することができます。

設定項目	設定内容	適用ディスク
操作キー呼出	画面にメニューを操作するための操作キーを表示します。 **操作キーを表示する・・・p.4-79**	DVD-VIDEO VIDEO CD2.0
タイトルメニュー	ディスクに収められている各タイトルのメニューが表示されます。 **タイトルメニューを表示する・・・p.4-79**	DVD-VIDEO
タイトル選択	タイトルを選ぶことができます。 **タイトルを選んで再生する・・・p.4-80**	DVD-VIDEO DVD-VR
10キーダイレクト入力	見たいグループ/トラック、タイトル/チャプターを指定して再生することができます。（※ DivXの場合は、フォルダ/ファイルを指定します。） **10キーダイレクト入力で再生をする・・・p.4-80**	VIDEO CD2.0のみ非表示
アングル	カメラアングルが複数収録されているディスクの場合に別のカメラアングルに切り替えることができます。 **アングルを切り替える・・・p.4-81**	DVD-VIDEO

設定項目	設定内容	適用ディスク
アングルマーク	全画面で映像表示中にアングル操作が可能になったことを知らせるアイコンが表示されます。表示のON/OFFを選ぶことができます。 **アングルマークを表示する･･･p.4-81**	DVD-VIDEO
メニュースキップ	DVDメニュー（ソフト固有のメニュー）を自動選択することで、選択操作をしなくても本編を再生するように設定できます。（自動選択には5秒ほどかかります） **DVDメニューをスキップする･･･p.4-82**	DVD-VIDEO
CMスキップ	CMスキップの秒数を設定できます。 **CMをスキップする･･･p.4-82**	DVD-VIDEO
ダイナミックレンジコントロール	ダイナミックレンジコントロール機能（DRC）のON/OFFを設定できます。 **ダイナミックレンジコントロールを設定する･･･p.4-82**	DVD-VIDEO DVD-VR
ソフトメニュー言語	DVDメニューのトップメニューを表示する言語を切り替えることができます。 **メニュー言語を切り替える･･･p.4-83**	DVD-VIDEO
画質調整	明るさ、コントラストなどの画質調整ができます。 **画質の調整をする･･･p.4-83**	すべてのディスク

次ページへつづく▶

設定項目	設定内容	適用ディスク
音声	DVDディスクに収録されている音声を切り替えることができます。 音声を切り替える･･･p.4-83	すべてのディスク
字幕	DVDディスクに収録されている字幕の言語を切り替えることができます。 字幕を切り替える･･･p.4-84	VIDEO CD2.0/1.1のみ非表示
画面設定	ワイド、フル、ノーマル、シネマから選びます。 画面の縦横比について･･･p.4-70	すべてのディスク
プレイモード切替	プレイモードを切り替えます。 プレイモードを切り替える･･･p.4-84	VIDEO CD2.0のみ 非表示
タイトルリスト	タイトルリストを表示します。 タイトルを選んで再生する･･･p.4-85	DVD-VR
セレクトNo	VIDEO-CD 2.0のメニュー（セレクション）を指定して再生することができます。 メニュー番号を選択して再生する･･･p.4-85	VIDEO CD2.0
PG/PLモード切替	DVD-VRの優先再生モードの設定を切り替える機能です。 ※ PG/PL（プログラム/プレイリスト） 優先再生モードを切り替える･･･p.4-85	DVD-VR

操作キーを表示する

DVD-VIDEO、VIDEO CD2.0のみの機能です。

❶ 操作キー呼出



❷ **操作キーを選ぶ**



操作キーは、以下の操作をすることができます。

◀ ▼ ▶ ▲	カーソルを上下左右に移動します。
決定	選択した項目を決定します。
移動	操作キーの表示位置を変えます。
戻る	前のメニュー画面に戻ります。
◀▲▼▶消す	操作キーを非表示にします。

知識

- VIDEO CDの場合は、決定、移動、戻る、◀▲▼▶消すのみ操作できます。
- 再生するディスクによっては、操作できない場合があります。

タイトルメニューを表示する

DVD-VIDEOのみの機能です。

❶ タイトルメニュー



ディスクに収められている各タイトルのメニューが表示されます。

詳細については、各ソフトをご覧ください。

タイトルを選んで再生する

DVD-VIDEO、DVD-VRのみの機能です。

1 タイトル選択



2 － または ＋



選択したタイトル番号から再生します。

10キーダイレクト入力で再生をする

1 10キーダイレクト入力



2 数字を入力し、決定



ディスクによって以下の操作をすることができます。

DVD-VIDEO DVD-VR	タイトルとチャプターを指定して再生することができます。
VIDEO-CD1.1	トラックを指定して再生することができます。
DivX	フォルダとファイルを指定して再生することができます。

アングルを切り替える

DVD-VIDEO、VIDEO CDのみの機能です。

1 （アングル）



2 （－）または（＋）



選択したアングルが設定されます。

アングルマークを表示する

アングルの切り替えが可能なときに、マークを表示させて知らせます。
DVD-VIDEOのみの機能です。

1 （アングルマーク）



ONが点灯し、アングルマーク表示が設定されます。
アングル切り替えが可能のときはマークが表示されます。

アングルマーク表示を設定すると、以下のように表示されます。

アングルマーク



アングル切り替えが可能のときはマークが表示されます。切り替え可能区間が終了すると区間終了のお知らせが表示されます。

DVD メニューをスキップする

通常は、DVD メニュー（ソフト固有のメニュー）から、「本編再生」を選択しますが、設定により選択しなくても本編を再生するように設定できます。（自動的に本編が再生されるまでは、6～ 7秒ほどかかります）

DVD-VIDEOのみの機能です。

1 （メニュースキップ）



ON が点灯し、メニュースキップが設定されます。

ON（点灯）	本編が自動再生します。
ON（消灯）	DVD メニューの「本編再生」を選択するまで、再生しません。

CM をスキップする

DVD-VIDEOのみの機能です。

1 （CMスキップ）



2 （－）または（＋）



15秒、30秒、60秒 か ら選びます。

ダイナミックレンジコントロールを設定する

ドルビーデジタル方式のディスクのみの機能です。

1 （ダイナミックレンジコントロール）



2 設定値を選ぶ



OFF	機能OFF
1	効果小
2	効果大

知識

- ダイナミックレンジコントロール（DRC）とは、音声の強弱の幅（ダイナミックレンジ）を調整する機能のことです。

メニュー言語を切り替える

再生停止中に、DVDソフトのトップメニューを表示する言語を切り替えることができます。

DVD-VIDEOのみの機能です。

1 （ソフトメニュー言語）



表示する言語を選んで、切り替えます。

画質の調整をする

1 （画質調整）



2 調整したい項目を選ぶ



以下の画質調整をすることができます。

（画面消し）	画面表示のON/OFFを切り替えます。
（明るさ）	画面の明るさを調整します。
（色合い）	画面の色合いを調整します。
（色の濃さ）	画面色の濃さを調整します。
（コントラスト）	画面のコントラストを調整します。
（黒レベル）	画面の黒レベルを調整します。

音声を切り替える

音声の言語を切り替えることができます。

1 （音声）



2 （◀）または（▶）



知識

- 切り替えることのできる言語はソフトにより異なります。

マルチファンクションディスプレイ
ナビゲーション
地図更新
オーディオ／ビジュアル
電話・データ通信
エアコン
情報を見る／ETC
詳細機能の設定
音声操作
バックビューモニター★
マルチファンクションメータ
付録さくいん

字幕を切り替える

字幕を切り替えることができます。VIDEO-CD 1.1/2.0は非表示です。

1 （字幕）



2 （◀）または（▶）



知識
●切り替えることのできる字幕はソフトにより異なります。

プレイモードを切り替える

VIDEO-CD 2.0のみ非表示です。

1 （プレイモード切替）



2 プレイモードを選ぶ



プレイモードは、ディスクによって以下の設定ができます。

● DVD-VIDEO、DVD-VRの場合

（全リピート）	全曲を繰り返し再生します。
（1チャプターリピート）	1チャプターを繰り返し再生します。

● VIDEO-CD1.1の場合

（全リピート）	全曲を繰り返し再生します。
（1トラックリピート）	1トラックを繰り返し再生します。
（1ディスクランダム）	1枚のディスクをランダム再生します。

タイトルを選んで再生する

DVD-VRのみの機能です。

1 （タイトルリスト）



タイトルリストを選びます。

メニュー番号を選択して再生する

VIDEO-CDのみの機能です。

1 （セレクトNo）



2 番号を入力し、（決定）



優先再生モードを切り替える

DVD-VRのみの機能です。

1 （PG/PLモード切替）



（◀）または（▶）をタッチして、モードを切り替えます。

マルチファンクションディスプレイ
ナビゲーション
地図更新
オーディオ／ビジュアル
電話・データ通信
エアコン
情報を見る／ETC
詳細機能の設定
音声操作
バックビューモニター★
マルチファンクションメータ
付録さくいん

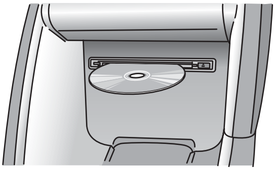
DivXのディスクを再生する

本機では、CD-R/RW、DVD-R/RWに記録されたDivXファイルを再生することができます。

アドバイス

- お客様が編集・収録されるDivXフォーマット映像に
  - **視聴回数制限がある場合**
    本機で視聴可能にするには、事前にユーザーアカウントを取得し、本機を再生機器として登録することが必要です。視聴回数制限がかかったDivXファイルをUSBメモリとディスクの両方に保存して、ディスクの挿入およびUSBメモリの接続を行わないでください。視聴回数制限のカウントが正常に行われない場合があります。
  - **視聴回数制限がない（フリーの）場合**
    そのまま本機で視聴できます。

1 ディスクを挿入する



2 ファイルを選ぶ



3 フォルダまたはファイルを選ぶ



4 項目を選ぶ



知識

- 複数のファイルがある場合は（音楽コンテンツと映像コンテンツ）選択画面が表示されます。
- 音楽コンテンツと映像コンテンツがそれぞれ１つのみの場合は、そのまま再生画面が表示されます。
- 視聴回数制限のあるファイルの場合には、最初に残りの使用回数を確認する画面が表示されます。メッセージを確認してご視聴ください。

オーディオ操作画面の見かた



① **曲情報（アーティスト名/アルバム名/曲名）**
テキスト情報が記録されている曲を再生しているときに表示されます。

② **イメージファイル**
画像ファイルがあるとき、表示されます。（MP3のみ）

③ （メニュー）
映像ファイルリストへの切り替えや、プレイモードの選択をします。

④ （リスト表示）
フォルダリストや曲リストを表示します。

⑤ **プレイモード**
プレイモードを表示します。

⑥ **再生時間**
曲が始まってから現在までの時間を表示します。

知識

DivXについて

- DivXは、DivX,Inc.がMPEG-4をベースに開発した圧縮フォーマットです。高画質を維持しながら高い圧縮率でファイルを作成します。圧縮ファイルには、音声をはじめ、メニュー、字幕、サブオーディオトラックまで入れることができます。DivX.comでは、DivXファイルを掲載しています。これらのメディアをダウンロードして、DivXの専用ツールを使えば、オリジナルのコンテンツを作成できます。
- DivX、DivX Certified、および関連するロゴは、DivX,Inc.の商標です。これらの商標は、DivX,Inc.の使用許諾を得て使用しています。

■ リストから選曲する

❶ （リスト表示）



❷ フォルダを選ぶ



音楽ファイルを選びます。

> **知識**
>
> ●フォルダが１つのみの場合は、フォルダリストは表示されません。ファイル選択画面が表示されます。

■ 映像ファイルに切り替える

オーディオ画面から、映像画面に切り替えます。

❶ （メニュー）/（リスト表示）



❷ （映像ファイルリストへ）



映像ファイルを選びます。

■ プレイモードを切り替える

❶ メニュー　❷ プレイモード





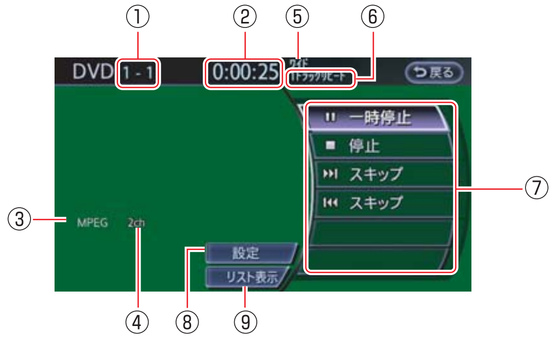
プレイモードを選びます。

ON が点灯し、プレイモードが設定されます。

以下のプレイモードを設定することができます。

プレイモード	再生方法
全リピート	すべての曲を繰り返し再生します。
1フォルダリピート	1つのフォルダの全曲を曲順に繰り返し再生します。（フォルダがある場合のみ）
1トラックリピート	1つの曲を繰り返し再生します。
全トラックランダム	すべての曲を自動的に順番を変えて再生します。
1フォルダランダム	1つのフォルダの全曲を自動的に順番を変えて再生します。（MP3/WMA/AACファイルを含むフォルダが複数ある場合のみ）

映像操作画面の見かた



① **フォルダ/ファイル表示**
現在再生中のフォルダ/ファイル番号を表示します。

② **再生時間**
フォルダ/ファイルの始まってから現在までの時間を表示します。（ファイルの再生が始まってから現在までの時間を表示するファイルもあります。）

③ **ファイルの音声フォーマット（記録形式）の種類**
Dolby digital、MPEG、LPCMなどの音声フォーマットを表示します。

④ **サウンドモード**
ファイルのサウンドモードを表示します。

⑤ **画面設定**
現在の画面設定を表示します。

⑥ **再生方法**
再生モードを表示します。

⑦ **操作メニュー**
再生、停止などの操作メニューを表示します。
（操作メニューは、ディスクによって異なります。）

⑧ 設定
各種機能の設定画面を表示します。
音声・画質などの設定をする ・・・p.4-92

⑨ リスト表示
ファイルリストを表示します。また、音楽ファイルリストへ切り替えます。

● 操作メニュー

▶ 再生／❚❚ 一時停止	フォルダまたはファイルを再生します。 再生されているときは、再生を一時停止します。再度タッチすると再生を再開します。
■停止	再生を停止します。
▶▶❙スキップ	次のフォルダまたはファイルへ進みます。長くタッチすると早送りします。
❙◀◀スキップ	1回タッチすると、次のフォルダまたはファイルの最初に戻ります。2回タッチすると、前へ戻ります。長くタッチすると早戻しします。

■ 映像ファイルを選ぶ

❶ リスト表示　❷ フォルダを選ぶ





映像ファイルを選びます。

知識

- フォルダが１つのみの場合は、フォルダリストは表示されません。ファイル選択画面が表示されます。

■ 音楽ファイルに切り替える

映像画面から、オーディオ画面に切り替えます。

❶ リスト表示 / 設定　❷ 音楽ファイルリストへ





音楽ファイルを選びます。オーディオ画面に切り替わります。

知識

- 映像操作画面の 設定 を選択してもオーディオ画面に切り替えることができます。

音声・画質などの設定をする・・・p.4-92

■ 音声・画質などの設定をする

1 設定



2 項目を選ぶ



以下の項目を設定することができます。

音楽ファイルリストへ	オーディオ画面に切り替わります。（音楽ファイルがある場合のみ表示されます。） **音楽ファイルに切り替える･･･p.4-91**
プレイモード切替	プレイモードを切り替えます。 **プレイモードを切り替える･･･p.4-89**
10キーダイレクト入力	見たいフォルダ、ファイルを指定して再生することができます。 **10キーダイレクト入力で再生をする･･･p.4-80**
画質調整	明るさ、コントラストなどの画質調整ができます。
ダイナミックレンジコントロール	ダイナミックレンジコントロール（DRC）機能のON/OFF を設定できます。 **ダイナミックレンジコントロールを設定する･･･p.4-82**
音声	ファイルに収録されている音声を切り替えることができます。 **音声を切り替える･･･p.4-83**
字幕	ファイルに収録されている字幕の言語を切り替えることができます。 **字幕を切り替える･･･p.4-84**
画面設定	ワイド、フル、ノーマル、シネマから選びます。 **画面の縦横比について･･･p.4-70**

コーデックの組み合わせについて

本機で再生対応している映像コーデックと音声コーデックの組み合わせは以下になります。

拡張子	コンテナ形式	コーデック	
		映像	音声
.avi .divx	AVI	DivX3 DivX4 DivX5 DivX6	MP3 (MPEG1 Audio Layer3) MPEG2.5 Audio Layer3 AC3 (Dolby Digital) LPCM Audio なし
.asf	ASF	ISO MPEG-4	G.726

以下の条件については、本機では再生できません。

● **DivX の場合**

- 映像コーデックがXvid、MS MPEG-4、MPEG-4 、MPEG-1、MPEG-2、WMV7、H.264などは再生できません。
- 映像コーデックは対応しているが、音声コーデックが非対応の場合は無音再生になります。
  ただし、音声コーデックがDTS音声の場合は再生できません。

● **ASFの場合**

- 映像コーデックがMS MPEG-4、WMV7～9などは再生できません。
- 映像コーデックは対応していても、音声コーデックが非対応の場合は再生できません。

映像ファイルについて

● **DivXの場合**

- 規格：DivX Home Theater Profileに準拠
- 画枠：最小32×32以下 最大720×576（25fps）、720×480（30fps）以上は再生できません。
- 下記の条件の場合、映像と音声の進みが乱れることがあります。
  平均ビットレートが4Mbps以上
  平均ピークレートが8Mbps以上

● **ASFの場合**

- 規格：ISO MPEG-4 Simple Profile@Level 0～3に準拠
- 画枠：最小32×32以下 最大720×576以上は再生できません。

知識

● DivXファイル内の構成によっては、特殊再生などが禁止されることがあります。

AUX（外部機器）◎

ビデオやゲーム機などの外部機器を接続して見ることができます。

⚠ 注意

- 安全のため、走行中ビデオは映りません。車を完全に停止し、パーキングブレーキをかけたときのみ、ご覧になることができます。それ以外では走行中と判断し、「画像は停止中にお楽しみください」と表示され、音声のみとなります。

外部機器を接続する

外部機器に付属、または市販の接続ケーブル（RCA ピンジャック）を入力端子に接続します。

アドバイス

- 外部機器の接続を行うときは、あらかじめオーディオの電源をOFFにしておきます。また、接続する外部機器の電源も切っておきます。
- ピンジャックは同じ色の入力端子に接続します。画像や音声がうまく出ない場合は接続を確認してください。

AUX画面を表示する

❶ TV・AUX を押す



AUX画面が表示されます。
TV・AUX を押すごとに、TV1→TV2→iPod/USB→Bluetooth® オーディオ→AUX と切り替わります。

AUX操作画面の見かた



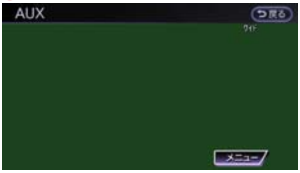
① **AUX表示**
AUX画面のときに表示されます。

② **画面設定**
現在の画面設定が表示されます。

③ メニュー
画面や画質の設定をします。

画面や音声を設定する

1 メニュー



2 項目を選ぶ



以下の項目を設定することができます。

画面設定	画面サイズをノーマル、ワイド、シネマから設定します。
ゲイン設定	出力レベルをLo、Mid、Hiから設定します。
画質調整	明るさ、コントラストなどの調整ができます。

■ 画面サイズについて

画面サイズはノーマル、ワイド、シネマの３種類があります。

ノーマル 通常の4:3の画面（画面左右は映りません）	
ワイド ノーマル画面を16:9に引き伸ばした画面	
シネマ 映画などの上下が切れた画像を画面いっぱいに表示する	

知識

- 営利目的または、公衆に視聴させることを目的として画面の圧縮や引き伸ばしなどを行うと、著作権法上、保護権法上で保護されている著作者の権利を侵害する恐れがありますので、ご注意ください。なお、お客様が個人的に視聴する限りにおいては問題ありません。

地上デジタルテレビ

ご使用上の注意

⚠ 注意

- 安全のため走行中に地上デジタルテレビ画面は映りません。車を完全に停止し、パーキングブレーキをかけたときのみ、ご覧になることができます。それ以外では走行中と判断し、「画像は停車中にお楽しみください」と表示され、音声のみとなります。

正しくお使いいただくために

- デジタル放送では受信状態が悪いと、映像のブロックノイズ、音声途切れの発生や静止画面、黒画面となり音声が出なくなることがあります。
- 車で移動して受信するため、家庭用に比べて受信可能エリアが狭くなります。また、車の場所や方向、速度などにより受信状態が変化します。
- 本機の受信周波数帯域に相当する周波数を用いた携帯電話などの機器を、本機やアンテナケーブルに近づけると、その影響で映像・音声などに不具合が生じる場合があります。それらの機器とは離してご使用ください。

ご留意していただくこと

- 本製品は、著作権保護技術を採用しており、マクロヴィジョン社及びその他の著作権利者が保有する米国特許及びその他の知的財産権によって保護されています。この著作権保護技術の使用は、マクロヴィジョン社の許可が必要で、またマクロヴィジョン社の特別な許可がない限り家庭用及びその他の一部の観賞用の使用に制限されています。分解したり、改造することも禁じられています。
- 本機はARIB（電波産業会）規格に基づいた商品仕様になっております。将来規格変更があった場合は、商品仕様を変更する場合があります。
- 各社の商標および製品商標に対しては特に注記のない場合でも、これを十分尊重いたします。

取り扱いについて

- エンジンをかけてご使用ください。エンジンを止めた状態で長時間使用すると、バッテリーが消耗します。

地上デジタル放送について

地上デジタル放送（12セグ）を受信するには、付属のB-CASカードをあらかじめB-CASカードリーダーに挿入してください。このカードには提供される番組の著作権を保護する機能が組み込まれています。B-CASカードを挿入しないと、地上デジタル放送（12セグ）の受信ができません。B-CASカード使用許諾契約約款をよくお読みの上、挿入してください。

製造メーカーについて

本地上デジタルチューナーは、日産自動車株式会社向けにクラリオン株式会社が開発・製造しています。

B-CASカードについて

B-CASカードに関するお問い合わせ、および紛失をされた場合は下記へお願いいたします。

株式会社ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズカスタマーセンター

0570-000-250

（IP電話からの場合045-680-2868）

受付時間10：00～20：00

詳細情報は、下記のホームページでご覧いただけます。

URL http://www.b-cas.co.jp/

本機の特徴

地上デジタル放送に対応

地上デジタル放送を高画質・高音質に楽しむことができます。

知識

- 本機は、双方向データサービスに対応しておりません。
- 地上デジタル放送とは、UHF帯の電波を使って行う放送で、関東・中京・近畿の三大広域圏の一部で2003年12月から開始され、その他の地域でも、2006年末までに放送が開始されました。今後も受信可能エリアは、順次拡大されます。高品質の映像と音声、更にデータ放送が特長です。現在の放送内容は、地上アナログ放送と同じ放送や、それをハイビジョン化したものが中心です。

1セグ放送に対応

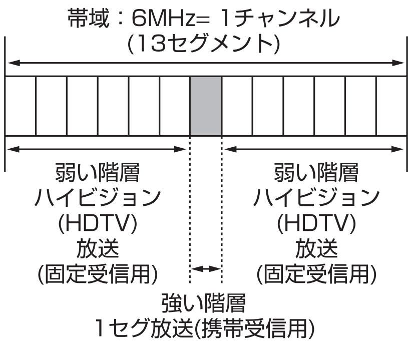
地上デジタル放送に加え、1セグにも対応しています。

また、地上デジタル放送⇔1セグへの自動切り換えまたは手動切り換えにより、受信エリアが拡大します。

（番組によってはサイマル放送が運用されていない場合があります。）

知識

- 地上デジタル放送はUHF帯域の電波を使っており、6MHzを1つのチャンネルとして割り当てられています。これを13のセグメントに分割して、画質により携帯受信向けの簡易動画放送（強階層）、固定受信向けのHDTV放送（弱階層）に分類しています。このうちのモバイル端末（携帯電話など）の強階層に割り当てられている「1つのセグメント」を使って放送を行うことから「1セグ放送」と呼ばれています。



- 1セグの番組は、地上デジタル放送と同じものですが、あくまで携帯端末のような小画面を対象とした簡易動画です。ハイビジョンではありません。そのため、お使いの車載用モニターでの表示画質が地上デジタル放送と1セグでは、大きく異なります。本機は、1セグのデータ放送には対応しておりません。
- サイマル放送とは、同じ時間帯に地上デジタル放送と1セグでそれぞれ同じ内容の番組を放送することです。放送局によっては、地上デジタル放送と1セグ放送とで番組が異なる場合があります。
- ワンセグ2サービスには対応しておりません。

自宅エリア／おでかけエリア

受信チャンネル設定には、「自宅エリア」、「おでかけエリア」の2種類があります。車が自宅周辺にあるときは「自宅エリア」で、旅行先などお出かけ先で使用するときは「自宅エリア」とは別に「おでかけエリア」でチャンネル設定できます。

受信チャンネルを設定する・・・p.4-108

系列局サーチ

地上デジタル放送では、同一放送局であっても走行エリアによってはチャンネルが異なる場合があります。

系列局サーチ機能は、受信している放送局のエリア圏外に入ったときなど、走行エリア付近の系列局をサーチする機能です。

B-CASカード

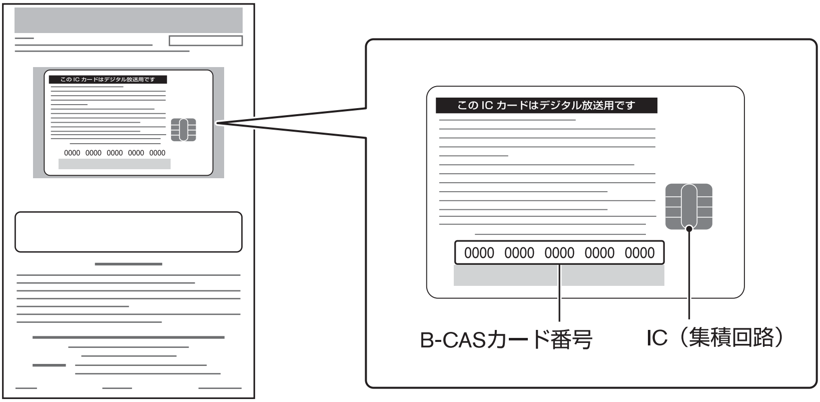
B-CASカードについて

地上デジタル放送（12セグ）の視聴のため必要なカードです。

アドバイス

- カードの説明書に記載の文面をよくお読みのうえ必ず挿入してください。
- B-CASカードを挿入しないと地上デジタル放送が視聴できません。
- 「B-CASカード使用許諾契約約款」を、よくお読みのうえ、「取扱説明書」とともに大切に保管してください。

地上デジタル放送は、放送番組の著作権保護のため、2004年4月からコピー制御信号を加えて放送されています。その信号を有効に機能させるためにB-CASカードが必要です。



知識

- B-CASカード番号は、B-CASカードを管理するための大切な番号です。問い合わせの際も必要です。必ず番号を控えておいてください。
- 付属のB-CASカードの所有権は、（株）ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズにあります。無断で複製できません。
- 破損・紛失などB-CASカードの再発行には手数料がかかります。
- B-CASカードのユーザー登録については、B-CASカードの台紙に記載されている事項やB-CASカード使用許諾契約約款などをよくお読みください。
- 付属のB-CASカードを使用して、BSデジタル放送や110度CSデジタル放送との有料受信契約をすることはできません。
- B-CASカードを破損・紛失などをされた場合は、お客様より（株）ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズカスタマーセンターへお問い合わせください。

取り扱い上の注意について

B-CASカードをご使用する前に、以下の注意事項をお読みください。

⚠ 注意

- カードを折り曲げたり、変形をさせないようにしてください。
- カードの上に重いものを置いたり、踏みつけたりしないようにしてください。
- カードに水をかけたり、濡れた手で触ったりしないでください。
- IC（集積回路）部を触らないでください。
- カードを分解・加工しないでください。
- ダッシュボードの上など高温になるところにカードを放置しないでください。
- BS／110度CSデジタル放送対応受信機には使用しないでください。（同梱のB-CASカードは地上デジタル専用です。）

B-CASカードについてのお問い合わせは

株式会社ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズカスタマーセンター

0570-000-250

（IP電話からの場合045-680-2868）

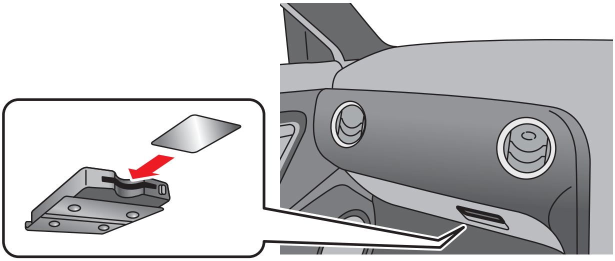
受付時間10：00～20：00

詳細情報は、下記のホームページでご覧いただけます。

URL http://www.b-cas.co.jp/

B-CASカードを挿入する／取り出す

B-CASカード挿入口の位置は、グローブボックスの下側にあります。



⚠ 警告

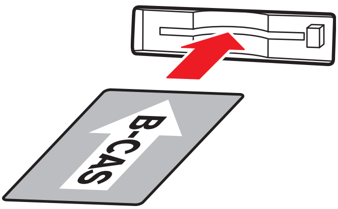
- 機器内部に水や異物を入れないでください。内部に金属物や燃えやすい物などが入ると、動作不良になるだけでなく、ショートや絶縁不良で発熱し、火災や発煙、発火、感電の原因になります。

⚠ 注意

- B-CASカード以外のものを挿入しないでください。故障や破損の原因となります。
- ご使用中は抜き差ししないでください。視聴できなくなる場合があります。
- B-CASカードの挿入／取り出しは、電源ポジションをOFFにしてから行ってください。

■ B-CASカードを挿入する

❶ B-CASカードを差し込む



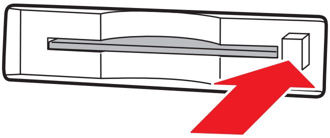
“カチッ” と音がするまで差し込んでください。

知識

- B-CASカードの向きに注意して挿入してください。

■ B-CASカードを取り出す

1 イジェクトボタンを押す



ゆっくりとB-CASカードを引き抜いてください。

アドバイス

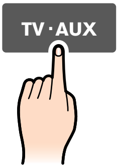
- カードの不具合と確認され、カードの故障交換が必要な場合は、株式会社ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズへお問い合わせください。

知識

- B-CASカードには、IC（集積回路）が組み込まれているため、画面にメッセージが表示されたとき以外は抜き差ししないでください。
- B-CASカードを抜き差ししたときは、3秒以上経ってから、B-CASカードテストを行ってください。

地上デジタルテレビ画面を表示する

1 TV・AUX を押す



テレビ操作画面が表示されます。

TV・AUX を押すごとに、TV1→TV2→iPod/USB→Bluetooth®オーディオ→AUX◎と切り替わります。

知識

- 初めて地上デジタルテレビを見るときは、「自宅のエリア、郵便番号の設定をしてください」というメッセージ画面が表示されます。設定 を選んで、受信チャンネルの設定を行ってください。

受信チャンネルを設定する・・・p.4-108

テレビ操作画面の見かた



① **現在のテレビモード**
TV1（自宅エリア）またはTV2（おでかけエリア）のどちらかが表示されます。

② **選局チャンネル**
現在受信中のチャンネルが表示されます。

③ **チャンネルリスト**
プリセットリストに登録されたチャンネルが表示されます。放送局名がない場合は、物理チャンネル番号を表示します。

④ **放送メッセージ消去**
放送メッセージが表示されるとこのスイッチが表示されます。確認した後はこのスイッチで消去することができます。（緊急メッセージなど、消去できないメッセージでは表示されません。）

⑤ メニュー
テレビ番組を見るためのメニューと設定メニューを表示します。

⑥ **受信感度バー**
受信状態を表示します。
アンテナ3本：強い
アンテナ1本：弱い
アンテナ0本：受信できません。

知識

- 操作画面は、操作をしないと8秒後に消えて通常のテレビ画面になります。画面にタッチすると、再び表示されます。

メニュー画面を表示させる

1 （メニュー）



2 項目を選ぶ



メニュー画面は、以下の操作をすることができます。

（オートプリセット）	現在地付近の放送局を自動登録します。 **オートプリセット･･･p.4-107**
（系列局サーチ）	走行エリア付近の放送局の系列局を自動的にサーチします。 **系列局をサーチする･･･p.4-107**
（番組表）	番組表を表示します。 **番組表を表示する･･･p.4-112**
（データ放送操作キー呼出）	データ放送を見るための操作キーを表示します。 **データ放送を見る･･･p.4-114**
（番組内容）	番組の詳しい内容を表示します。 **番組の詳しい内容を見る･･･p.4-114**
（設定）	受信チャンネルやメールの設定また音声、画質などの設定をします。 **受信チャンネルを設定する･･･p.4-108** **各種機能の設定をする･･･p.4-116**

オートプリセット

現在地付近で受信可能な放送局を順に登録します。TV1、TV2に12局ずつ、最大24局まで自動的に登録されます。

❶ メニュー



❷ オートプリセット



❸ 放送局を自動で探す



登録が終わると、メッセージが表示され、TV画面に戻ります。

系列局をサーチする

受信している放送局のエリア圏外に入ったときなどに、走行エリア付近の系列局を探します。

❶ メニュー



❷ 系列局サーチ



❸ 系列局を探す



知識

- 約3分間サーチしても放送局が見つからない場合は、元のチャンネルに戻ります。

受信チャンネルを設定する

地上デジタル放送を受信するためのチャンネル設定をします。受信チャンネルの設定には「自宅エリア」と「おでかけエリア」の２種類があります。

自宅エリアを設定する

車が自宅周辺にあるときは「自宅エリア」でチャンネルの設定を行ってください。

1. メニュー



2. 設定



3. 自宅エリア、郵便番号設定(TV1)



4. 自宅の地域を選ぶ



5. 郵便番号を入力し、決定



6. はい



オートプリセットを開始します。終了すると、メッセージが表示されます。

知識

- 引っ越しなどで受信地域が変わったときは、「自宅エリア」の再設定を行ってください。
- 設定した郵便番号は、データ放送の地域情報の取得に使用されます。

おでかけエリアを設定する

旅行などのお出かけ先でテレビを見るための受信チャンネルの設定です。

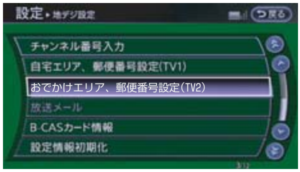
1 メニュー



2 設定



3 おでかけエリア、郵便番号設定(TV2)



4 お出かけ先の地域を選ぶ



5 郵便番号を入力し、決定



6 はい



オートプリセットを開始します。終了すると、メッセージが表示されます。

知識

- 新たに「おでかけエリア」を設定すると、それまでの「おでかけエリア」の設定は全て消去されます。

地上デジタルテレビを見る

アドバイス

- B-CASカードを挿入しないと、地上デジタル放送（12セグ）の受信ができません。

チャンネルを選ぶ

見たいチャンネルリストを選択します。



チャンネルリストを1つずつ、またはページごとに送ります。

知識

- 1つのチャンネルで複数の番組を同時に放送している場合は、チャンネルリストに SUB （SUBアイコン）が表示されます。SUBアイコンが表示されたチャンネルを押すごとに、同じチャンネル内の複数番組を切り替えることができます。
- 登録したいチャンネルリストを「ピッ」と音がするまでタッチすると、視聴しているチャンネルを登録することができます。またはコントロールパネルの 1 ～ 6 を「ピッ」と音がするまで押し続けることで、視聴しているチャンネルをスイッチに登録することができます。スイッチに登録されたチャンネルは、チャンネルリストに P1 ～ P6 アイコンが表示されます。
- コントロールパネルの ⏮ SEEK または TRACK ⏭ を押しても、同様に選局することができます。短押しすると、受信状態がよい3桁チャンネルを自動的に選局します。（あらかじめチャンネルリストに登録されているチャンネルのみ選局することができます）長押しすると、受信状態がよい13chから62chまでのすべての物理チャンネルを自動的に選局します。

用語解説・・・p.4-125

- 番組表を表示して番組を選ぶこともできます。

番組表から現在放送中のテレビを見る・・・p.4-113

オートプリセット・・・p.4-107

- 受信している放送局のエリア圏外になったときは、走行エリア付近の系列局を自動的に探します。

系列局をサーチする・・・p.4-107

- 電波の受信状態が悪いときは、自動的に1セグに切り替わります。

1セグと地上デジタル放送を切り替える・・・p.4-111

- **緊急警報放送について**

  緊急警報放送（EWS）とは大規模災害など緊急な出来事が発生した場合に、緊急警報放送を放送局より送信して、視聴者にいち早く情報を知らせる放送システムです。本機能は、地上デジタル放送視聴時のみの機能です。視聴中の放送局で緊急警報放送が開始されると、自動的に緊急警報放送のチャンネルに切り替わります。緊急警報放送終了後、90秒で自動的に元のチャンネルに戻ります。

1セグと地上デジタル放送を切り替える

地上デジタル放送の受信状況に応じて、1セグ放送と地上デジタル放送を自動的に切り替える設定をします。

「自動」に設定すると地上デジタル放送番組を視聴中に、受信状況が悪化したときには、自動的に1セグの番組に切り替え、地上デジタル放送が受信できるようになれば、自動的に地上デジタル放送の番組に切り替えます。

放送局によっては、1セグ放送と地上デジタル放送とで番組が異なる場合があります。

1 (メニュー)



2 (設定)



3 (1セグ／地デジ切替)



4 (◀)または(▶)



選択した項目が設定されます。

以下の設定をすることができます。

(自動)	受信状況に応じて自動的に切り替わります。
(地デジ固定)	地上デジタル放送に固定されます。
(1セグ固定)	1セグ放送に固定されます。

番組表を表示する

画面上に番組表を一覧表示します。（地上デジタル放送は最大４日分、１セグは最大10番組）

● 番組表から今、放送中の番組の選局ができます。

● 地上デジタルの番組情報は地上デジタル放送と一緒に送られています。

1 （メニュー）



2 （番組表）



3 項目を選ぶ



■ 番組表の見かた



① 現在受信している番組

② （決定）
選択した項目を決定します。

③ ◀ ▼ ▶ ▲
カーソルを上下左右に移動して、項目を選択します。

④ （番組表切替）
１セグと地上デジタル放送の番組表を切り替えます。
（１セグ／地デジ切替が自動に設定されている場合のみ、切替操作できます。）

⑤ （更新）
番組表を更新します。

⑥ （戻る）
前画面に戻ります。

⑦ 選択している番組

⑧ 番組表

⑨ （青）前日の番組表を表示します。
（赤）翌日の番組表を表示します。
（緑）全ての番組表表示と主要な番組表表示とを切り替えます。
（黄）番組表を拡大または縮小します。（４段階）

知識

- 電源を入れた直後は番組表が表示されるまでに約1分程度かかる場合があります。
- 受信可能な放送局で番組情報が表示されない場合は、その局を選んで、（決定）を選択すると表示されます（数分かかることがあります）。

■ 番組表から現在放送中のテレビを見る

❶ 見たい番組を選んで ENTER



選択した番組に切り替わります。

知識

- タッチパネルで（決定）をタッチしても同様の操作をすることができます。
- ◀ ▼ ▶ ▲をタッチして、見たい番組を選びます。選んでいる番組は白色で表示されます。

■ 省略されている番組（間引き番組）を表示させる

省略されている番組（間引き番組）の番組表の前面にポップアップ表示させることができます。

❶ ▲ ▼にタッチして、カーソルを番組が省略されていることを示す青い横線（間引き線）に移動させる



間引き番組がポップアップ表示されます。

間引き番組が複数ある場合

ポップアップ表示の上下に太い横線で強調表示されます。

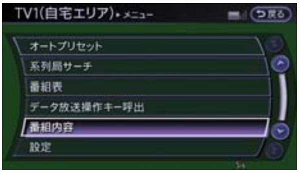


番組の詳しい内容を見る

放送中の番組の詳しい内容を見ることができます。

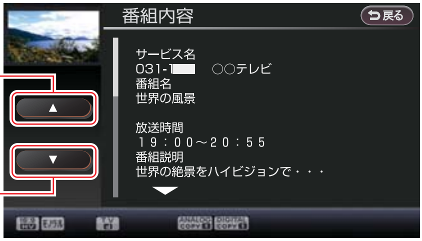
1 （メニュー）　**2** （番組内容）





● 番組内容画面

上方向に表示を
スクロールします。



下方向に表示を
スクロールします。

知識
● 1セグ受信中は番組内容やデータ放送の視聴はできません。

データ放送を見る

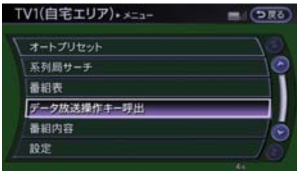
データ放送のある番組からはいろいろな情報を見ることができます。アイコンが表示された番組にはデータ放送があります。

表示アイコン例：



1 （メニュー）　**2** （データ放送操作キー呼出）　**3** **操作キーを選ぶ**

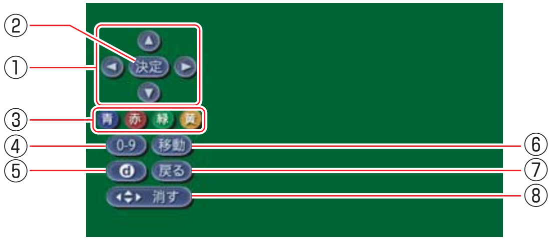






	データ放送操作画面を表示します。
（d）	データ放送に切り替わります。
（終了）	通常のデジタル放送に戻ります。

■ データ放送操作画面の見かた



① ◀ ▼ ▶ ▲
カーソルを上下左右に移動します。

② 決定
選択した項目を決定します。

③ 青、赤、緑、黄
データ放送のコンテンツに依存した動作をします。

④ 0－9
10キー入力の操作キーが表示されます。

⑤ d
データ放送を終了します。

⑥ 移動
操作キーの表示位置を左右に移動させます。

⑦ 戻る
データ放送のコンテンツに依存します。

⑧ ◀▲▼▶消す
操作キーを元の表示に戻します。

知識

- 双方向データサービス、1セグのデータ放送には、対応しておりません。
- 情報量が多いときは、表示に時間がかかります。
- チャンネル切り替え直後は、データ放送に切り替わらない場合があります。画面下に「データ取得中」とメッセージが表示された後にもう一度 d をタッチしてください。

各種機能の設定をする

❶ メニュー　❷ 設定　❸ 項目を選ぶ







以下の項目を設定することができます。
自宅エリア、郵便番号設定(TV1)、おでかけエリア、郵便番号設定(TV2)を除き、TV1、TV2とも共通の設定となります。

項目	内容
1セグ／地デジ切替	1セグ固定／地デジ固定／自動切替を設定します。 1セグと地上デジタル放送を切り替える・・・p.4-111
音声	日本語／英語など言語を切り替えます。 音声と字幕の設定をする・・・p.4-117
主・副	主音声と副音声を切り替えます。 音声と字幕の設定をする・・・p.4-117
字幕	字幕言語を切り替えます。 音声と字幕の設定をする・・・p.4-117
イベントリレー	視聴している番組のイベントリレーを設定します。 イベントリレーを設定する・・・p.4-117
画質調整	画面の明るさやコントラストなど、画質の調整をします。 画質の調整をする・・・p.4-118
チャンネル番組入力	3桁チャンネル番号を入力して、選局できます。 3桁チャンネル番号を入力して選局する・・・p.4-118
自宅エリア、郵便番号設定(TV1)	自宅周辺の受信チャンネルを設定します。 自宅エリアを設定する・・・p.4-108
おでかけエリア、郵便番号設定(TV2)	旅行先など、お出かけになる地域の受信チャンネルを設定します。 おでかけエリアを設定する・・・p.4-109
放送メール	放送局からのお知らせや情報を見ることができます。 放送メールを見る・・・p.4-119
B-CASカード情報	B-CASカードの情報を見ることができます。 B-CASカードの情報を見る・・・p.4-119
設定情報初期化	設定した情報を消去し、設定を初期設定の状態に戻します。 設定情報を初期化する・・・p.4-120

音声と字幕の設定をする

「音声」、「字幕」などの設定をします。

1 （音声）／（主・副）／（字幕） **2** （◀）または（▶）





（音声）	日本語／英語／その他の対応言語に音声を切り替えます。
（主・副）	主・副／主音声／副音声を切り替えます。
（字幕）	非表示／第一言語／第二言語から字幕を切り替えます。

イベントリレーを設定する

同じ番組内容でチャンネルが別のチャンネルへ移行する場合、チャンネルを移行先のチャンネルへ自動で切り替え、番組の視聴を継続できます。

1 （イベントリレー）



● ON が点灯し、イベントリレーが設定されます。

画質の調整をする

1 画質調整



2 **調整したい項目を選ぶ**



以下の画質調整をすることができます。

画面消し	画面表示のON/OFFを切り替えます。
明るさ	画面の明るさを調整します。
コントラスト	画面のコントラストを調整します。
黒レベル	画面の黒レベルを調整します。

3桁チャンネル番号を入力して選局する

3桁チャンネル番号を入力して、放送局を選局します。

1 チャンネル番号入力



2 **3桁チャンネルを入力し、決定**



入力した放送局を受信します。

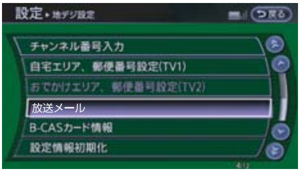
知識

- あらかじめ登録されているチャンネルのみ選局することができます。
- 1セグ/地デジ切替設定が1セグ固定または地デジ固定の場合は、それぞれに該当する3桁チャンネルを入力してください。

放送メールを見る

放送局や本機からのメールでお知らせや情報を見ることができます。

❶ (放送メール)



リストから読みたいメールを選び、(決定)にタッチします。

知識

- 放送局からのメールは、8通まで保存することができます。
- リストが多いときは、ページをスクロールすることができます。
- 新しいメールを受信すると、未読、既読関係なく古いメールから削除されます。

B-CASカードの情報を見る

B-CASカードのナンバーなど、情報を見ることができます。またB-CASカードのテストを行うこともできます。

❶ (B-CAS カード情報)　❷ (テスト)





テストの結果が表示されます。

知識

- カードナンバーが表示されない場合は、B-CASカードの挿入状態を確認してください。

設定情報を初期化する

設定した地上デジタルテレビに関する設定情報を消去し、初期設定の状態に戻します。

❶ 設定情報初期化



❷ 項目を選ぶ



❸ はい



受信メール消去	放送メールを消去します。
自宅エリア設定消去	自宅エリア、郵便番号の設定を消去します。
おでかけエリア設定消去	おでかけエリア、郵便番号の設定を消去します。
各種設定項目の初期化	音声、字幕などの各種設定を消去します。
全データの消去・初期化	全データを消去します。

地上デジタル放送チャンネル一覧表（地域名を用いた設定）

- 受信チャンネル設定で選択された地域（お住まいの地域）の放送局とチャンネル番号の組み合わせは、下表のようになります。

受信チャンネルを設定する･･･p.4-108

- 割り当てられた放送が実際に開始される時期は地域により異なります。また放送の開始時は地上アナログ放送との混信を避けるために、非常に小さい出力で放送されるため受信できるエリアが限定されます。
- 番組情報は、変更になっている可能性があります。

お住まいの地域	チャンネル番号	放送局名
北海道（札幌）	3	NHK総合・札幌
	2	NHK教育・札幌
	1	HBC札幌
	5	STV札幌
	6	HTB札幌
	8	UHB札幌
	7	TVH札幌
北海道（函館）	3	NHK総合・函館
	2	NHK教育・函館
	1	HBC函館
	5	STV函館
	6	HTB函館
	8	UHB函館
	7	TVH函館
北海道（旭川）	3	NHK総合・旭川
	2	NHK教育・旭川
	1	HBC旭川
	5	STV旭川
	6	HTB旭川
	8	UHB旭川
	7	TVH旭川
北海道（帯広）	3	NHK総合・帯広
	2	NHK教育・帯広
	1	HBC帯広
	5	STV帯広
	6	HTB帯広
	8	UHB帯広
	7	TVH帯広
北海道（釧路）	3	NHK総合・釧路
	2	NHK教育・釧路
	1	HBC釧路
	5	STV釧路
	6	HTB釧路
	8	UHB釧路
	7	TVH釧路
北海道（北見）	3	NHK総合・北見
	2	NHK教育・北見
	1	HBC北見
	5	STV北見
	6	HTB北見
	8	UHB北見
	7	TVH北見
北海道（室蘭）	3	NHK総合・室蘭
	2	NHK教育・室蘭
	1	HBC室蘭
	5	STV室蘭
	6	HTB室蘭
	8	UHB室蘭
	7	TVH室蘭
北海道（小樽）	1	HBC小樽
	2	NHK教育・小樽
	3	NHK総合・小樽
	5	STV小樽
	6	HTB小樽
	7	TVH小樽
	8	UHB小樽

お住まいの地域	チャンネル番号	放送局名
北海道（苫小牧）	1	HBC苫小牧
	2	NHK教育・苫小牧
	3	NHK総合・苫小牧
	5	STV苫小牧
	6	HTB苫小牧
	7	TVH苫小牧
	8	UHB苫小牧
宮城	3	NHK総合・仙台
	2	NHK教育・仙台
	1	TBCテレビ
	8	仙台放送
	4	ミヤギテレビ
	5	KHB東日本放送
秋田	1	NHK総合・秋田
	2	NHK教育・秋田
	4	ABS秋田放送
	8	AKT秋田テレビ
	5	AAB秋田朝日放送
山形	1	NHK総合・山形
	2	NHK教育・山形
	4	YBC山形放送
	5	YTS山形テレビ
	6	テレビュー山形
	8	さくらんぼテレビ
岩手	1	NHK総合・盛岡
	2	NHK教育・盛岡
	6	IBCテレビ
	4	テレビ岩手
	8	めんこいテレビ
	5	岩手朝日テレビ
福島	1	NHK総合・福島
	2	NHK教育・福島
	8	福島テレビ
	4	福島中央テレビ
	5	KFB福島放送
	6	テレビュー福島
青森	3	NHK総合・青森
	2	NHK教育・青森
	1	RAB青森放送
	6	ATV青森テレビ
	5	青森朝日放送
東京	1	NHK総合・東京
	2	NHK教育・東京
	4	日本テレビ
	6	TBS
	8	フジテレビジョン
	5	テレビ朝日
	7	テレビ東京
	9	東京MXテレビ
	12	放送大学

お住まいの地域	チャンネル番号	放送局名
神奈川	1	NHK総合・東京
	2	NHK教育・東京
	4	日本テレビ
	6	TBS
	8	フジテレビジョン
	5	テレビ朝日
	7	テレビ東京
	3	tvk
	12	放送大学
群馬	1	NHK総合・東京
	2	NHK教育・東京
	4	日本テレビ
	6	TBS
	8	フジテレビジョン
	5	テレビ朝日
	7	テレビ東京
	3	群馬テレビ
	12	放送大学
茨城	1	NHK総合・水戸
	2	NHK教育・東京
	4	日本テレビ
	6	TBS
	8	フジテレビジョン
	5	テレビ朝日
	7	テレビ東京
	12	放送大学
千葉	1	NHK総合・東京
	2	NHK教育・東京
	4	日本テレビ
	6	TBS
	8	フジテレビジョン
	5	テレビ朝日
	7	テレビ東京
	3	チバテレビ
	12	放送大学
栃木	1	NHK総合・東京
	2	NHK教育・東京
	4	日本テレビ
	6	TBS
	8	フジテレビジョン
	5	テレビ朝日
	7	テレビ東京
	3	とちぎテレビ
	12	放送大学
埼玉	1	NHK総合・東京
	2	NHK教育・東京
	4	日本テレビ
	6	TBS
	8	フジテレビジョン
	5	テレビ朝日
	7	テレビ東京
	3	テレ玉
	12	放送大学

次ページへつづく

お住まいの地域	チャンネル番号	放送局名
長野	1	NHK総合・長野
	2	NHK教育・長野
	4	テレビ信州
	5	abn長野朝日放送
	6	SBC信越放送
	8	NBS長野放送
新潟	1	NHK総合・新潟
	2	NHK教育・新潟
	6	BSN
	8	NST
	4	TeNYテレビ新潟
	5	新潟テレビ21
山梨	1	NHK総合・甲府
	2	NHK教育・甲府
	4	YBS山梨放送
	6	UTY
大阪	1	NHK総合・大阪
	2	NHK教育・大阪
	4	MBS毎日放送
	6	ABCテレビ
	8	関西テレビ
	10	よみうりテレビ
	7	テレビ大阪
京都	1	NHK総合・京都
	2	NHK教育・大阪
	4	MBS毎日放送
	6	ABCテレビ
	8	関西テレビ
	10	よみうりテレビ
	5	KBS京都
兵庫	1	NHK総合・神戸
	2	NHK教育・大阪
	4	MBS毎日放送
	6	ABCテレビ
	8	関西テレビ
	10	よみうりテレビ
	3	サンテレビ
和歌山	1	NHK総合・和歌山
	2	NHK教育・大阪
	4	MBS毎日放送
	6	ABCテレビ
	8	関西テレビ
	10	よみうりテレビ
	5	テレビ和歌山
奈良	1	NHK総合・奈良
	2	NHK教育・大阪
	4	MBS毎日放送
	6	ABCテレビ
	8	関西テレビ
	10	よみうりテレビ
	9	奈良テレビ
滋賀	1	NHK総合・大津
	2	NHK教育・大阪
	4	MBS毎日放送
	6	ABCテレビ
	8	関西テレビ
	10	よみうりテレビ
	3	BBCびわ湖放送
広島	1	NHK総合・広島
	2	NHK教育・広島
	3	RCCテレビ
	4	広島テレビ
	5	広島ホームテレビ
	8	TSS
岡山	1	NHK総合・岡山
	2	NHK教育・岡山
	4	RNC西日本テレビ
	5	KSB瀬戸内海放送
	6	RSKテレビ
	7	テレビせとうち
	8	OHKテレビ

お住まいの地域	チャンネル番号	放送局名
香川	1	NHK総合・高松
	2	NHK教育・高松
	4	RNC西日本テレビ
	5	KSB瀬戸内海放送
	6	RSKテレビ
	7	テレビせとうち
	8	OHKテレビ
島根	3	NHK総合・松江
	2	NHK教育・松江
	8	山陰中央テレビ
	6	BSSテレビ
	1	日本海テレビ
鳥取	3	NHK総合・鳥取
	2	NHK教育・鳥取
	8	山陰中央テレビ
	6	BSSテレビ
	1	日本海テレビ
山口	1	NHK総合・山口
	2	NHK教育・山口
	4	KRY山口放送
	3	tysテレビ山口
	5	yab山口朝日
愛知	3	NHK総合・名古屋
	2	NHK教育・名古屋
	1	東海テレビ
	5	CBC
	6	メ～テレ
	4	中京テレビ
	10	テレビ愛知
三重	3	NHK総合・津
	2	NHK教育・名古屋
	1	東海テレビ
	5	CBC
	6	メ～テレ
	4	中京テレビ
	7	三重テレビ
岐阜	3	NHK総合・岐阜
	2	NHK教育・名古屋
	1	東海テレビ
	5	CBC
	6	メ～テレ
	4	中京テレビ
	8	ぎふチャン
石川	1	NHK総合・金沢
	2	NHK教育・金沢
	4	テレビ金沢
	5	北陸朝日放送
	6	MRO
	8	石川テレビ
静岡	1	NHK総合・静岡
	2	NHK教育・静岡
	6	SBS
	8	テレビ静岡
	4	静岡第一テレビ
	5	静岡朝日テレビ
福井	1	NHK総合・福井
	2	NHK教育・福井
	7	FBCテレビ
	8	福井テレビ
富山	3	NHK総合・富山
	2	NHK教育・富山
	1	KNB北日本放送
	8	BBT富山テレビ
	6	チューリップテレビ
愛媛	1	NHK総合・松山
	2	NHK教育・松山
	4	南海放送
	5	愛媛朝日
	6	あいテレビ
	8	テレビ愛媛
徳島	3	NHK総合・徳島
	2	NHK教育・徳島
	1	四国放送

お住まいの地域	チャンネル番号	放送局名
高知	1	NHK総合・高知
	2	NHK教育・高知
	4	高知放送
	6	テレビ高知
	8	さんさんテレビ
福岡	3	NHK総合・福岡
	3	NHK総合・北九州
	2	NHK教育・福岡
	2	NHK教育・北九州
	1	KBC九州朝日放送
	4	RKB毎日放送
	5	FBS福岡放送
	7	TVQ九州放送
	8	TNCテレビ西日本
熊本	1	NHK総合・熊本
	2	NHK教育・熊本
	3	RKK熊本放送
	8	TKUテレビ熊本
	4	KKTくまもと県民
	5	KAB熊本朝日放送
長崎	1	NHK総合・長崎
	2	NHK教育・長崎
	3	NBC長崎放送
	8	KTNテレビ長崎
	5	NCC長崎文化放送
	4	NIB長崎国際テレビ
鹿児島	3	NHK総合・鹿児島
	2	NHK教育・鹿児島
	1	MBC南日本放送
	8	KTS鹿児島テレビ
	5	KKB鹿児島放送
	4	KYT鹿児島讀賣TV
宮崎	1	NHK総合・宮崎
	2	NHK教育・宮崎
	6	MRT宮崎放送
	3	UMKテレビ宮崎
大分	1	NHK総合・大分
	2	NHK教育・大分
	3	OBS大分放送
	4	TOSテレビ大分
	5	OAB大分朝日放送
佐賀	1	NHK総合・佐賀
	2	NHK教育・佐賀
	3	STSサガテレビ
沖縄	1	NHK総合・那覇
	2	NHK教育・那覇
	3	RBCテレビ
	5	QAB琉球朝日放送
	8	沖縄テレビ（OTV）

（2009年12月現在）

アイコン一覧

- 本機はアイコン（機能表示のシンボルマーク）によって、表示画面の情報をお知らせします。
  アイコンは番組内容の表示であり、「デジタル1COPY」など本機の機能と関連のないものもあります。
- 放送局から情報が送られてこない場合は、正しいアイコンを表示しない場合があります。

■ 番組内容画面

アイコン	説明	アイコン	説明
TV	テレビ放送（映像＋音声）の番組。	データ	データ放送の番組。
1 SEG	1セグ放送の番組。	地 DIGITAL	地上デジタル放送の番組。
TV +d	番組内容に関連したデータ放送を行っている番組。	TV d	番組とは別のデータ放送を行っている番組。
モノラル	モノラル音声の番組。	2カ国	2カ国語放送の番組。
ステレオ	ステレオ放送の番組。	DIGITAL 出力 ✕	デジタル出力していない番組。
字幕	番組の中に字幕（日本語／英語）の情報が含まれている番組。	DIGITAL COPY ✕	デジタルコピーガードが、かかっている番組。（デジタルで録画できません）
ANALOG 出力 ✕	アナログ出力していない番組。	臨時	臨時放送時に表示されます。
ANALOG COPY ✕	アナログコピーガードが、かかっている番組。（アナログで録画できません）	DIGITAL COPY 1	1回のみデジタルコピーが可能な番組。（録画後、ダビングできません）
16:9 HV	ワイド画面のハイビジョン放送の番組。	4:3 HV	ノーマル画面のハイビジョン放送の番組。
16:9 SD	ワイド画面の通常放送の番組。	4:3 SD	ノーマル画面の通常放送の番組。
AUTO	1セグ/ 地デジ切替の設定が自動の場合に表示されます。	EWS	緊急警報放送（EWS）時に表示されます。

メッセージ表示一覧

本機では、メールで送られてくる情報とは別に、状況に合わせてメッセージが表示されます。

- 主なメッセージとその内容は下記のとおりです。

メッセージ	内容
信号レベルが低下しているため、このチャンネルは受信できません。	デジタル放送の受信レベルが低い場合に表示されます。
このチャンネルは受信できません。	デジタル放送の電波を受信できていない場合に表示されます。
このチャンネルは現在放送されていません。	放送時間が終了しています。番組表などでチャンネルをお確かめください。
B-CASカードが読み取れません。	B-CASカードの挿入方向の間違い、または使用できないカードが挿入されています。本機付属のB-CASカードを正しく挿入してください。 **B-CASカードを挿入する／取り出す・・・p.4-103**
B-CASカードを入れてください。	B-CASカードが入っていないか、正しく挿入されていません。本機付属のB-CASカードを正しく挿入してください。
データ取得中です。	データ取得中の表示です。故障ではありません。

用語解説

<table>
<tr><td>（株）B-CAS</td><td>BSデジタル放送の限定受信システム（CAS）を管理するために設立された（株）ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズの略称です。B-CASカードの発行・管理をしています。110度CSデジタル放送、地上デジタル放送も同じシステムを使用しています。</td></tr>
<tr><td>データ放送</td><td>お客様が見たい情報を選んで画面に表示させることができます。例えばお客様のお住まいの地域の天気予報を、いつでも好きなときに表示させることができます。また、テレビ放送に連動したデータ放送もあります。</td></tr>
<tr><td>3桁チャンネルと物理チャンネル</td><td>●3桁チャンネル
地上アナログ放送では、1つのチャンネルで1つの番組を放送しており、チャンネル番号はその放送局に対応しています。地上デジタル放送では1つのチャンネルで複数の番組を同時に放送できるため編成チャンネルと呼ばれる3桁のチャンネルが設定されています。3桁のうち最初の2桁は放送局を示すチャンネル（リモコンチャンネル）、最後の1桁はその放送局の中でのチャンネルを示す代表チャンネルとなっています。
●物理チャンネル
物理チャンネルとは、実際に受信する周波数を表すチャンネル番号のことです。地上デジタル放送では、従来のアナログ放送とは異なり実際に受信する周波数を送信しているチャンネル（物理チャンネル）と放送局を示すチャンネル（リモコンチャンネル）が異なります。
＜東京のチャンネル例＞
<table>
<tr><th>放送局</th><th>リモコンチャンネル</th><th>3桁チャンネル</th><th>物理チャンネル</th></tr>
<tr><td>NHK総合</td><td>1</td><td>011または012</td><td>27</td></tr>
<tr><td>NHK教育</td><td>2</td><td>021または022</td><td>26</td></tr>
<tr><td>日本テレビ</td><td>4</td><td>041</td><td>25</td></tr>
<tr><td>TBS</td><td>6</td><td>061</td><td>22</td></tr>
<tr><td>フジテレビジョン</td><td>8</td><td>081</td><td>21</td></tr>
<tr><td>テレビ朝日</td><td>5</td><td>051</td><td>24</td></tr>
<tr><td>テレビ東京</td><td>7</td><td>071</td><td>23</td></tr>
<tr><td>東京MXテレビ</td><td>9</td><td>091または092</td><td>20</td></tr>
<tr><td>放送大学</td><td>12</td><td>121</td><td>28</td></tr>
</table>
</td></tr>
</table>

MEMO